

# 平成 26 年度 第 1 回 岩手県企業局経営評価委員会

平成 26 年 6 月 13 日（金） 14：00 ～ 16：00

岩手県民会館（盛岡市内丸 13 番 1 号） 第一会議室（4 階）

## 次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（佐々木企業局長）
- 3 議 事
  - (1) 中期経営計画における平成 25 年度の実績について
    - ア 決算概要について
    - イ 評価について
  - (2) 平成 26 年度 of 取組みについて
    - ア 進行管理・評価スケジュールについて
    - イ 経営目標について
    - ウ 行動計画について
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

### 配付資料

- |          |          |                               |
|----------|----------|-------------------------------|
| 資料 1 - 1 | 平成 25 年度 | 経営評価総括表（案）                    |
| 1 - 2    | 平成 25 年度 | 経営方針別管理・評価集計表（案）              |
| 1 - 3    | 平成 25 年度 | 行動計画 管理・評価区分表（案）              |
|          | 平成 25 年度 | 行動計画 管理・評価シート（案）              |
| 資料 2     | 平成 26 年度 | 中期経営計画（経営評価）の進行管理・評価スケジュール（案） |
| 資料 3 - 1 | 平成 26 年度 | 経営評価総括表（案）                    |
| 3 - 2    | 平成 26 年度 | 経営方針別管理・評価集計表（案）              |
| 3 - 3    | 平成 26 年度 | 行動計画 管理・評価区分表（案）              |
|          | 平成 26 年度 | 行動計画 管理・評価シート（案）              |
| 資料 4     | 平成 26 年度 | 経営目標の評価基準について（案）              |
| 参考資料 1   | 平成 25 年度 | 決算概要                          |

平成 26 年度 第 1 回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

平成 26 年 6 月 13 日 (金) 14:00 ~ 16:00

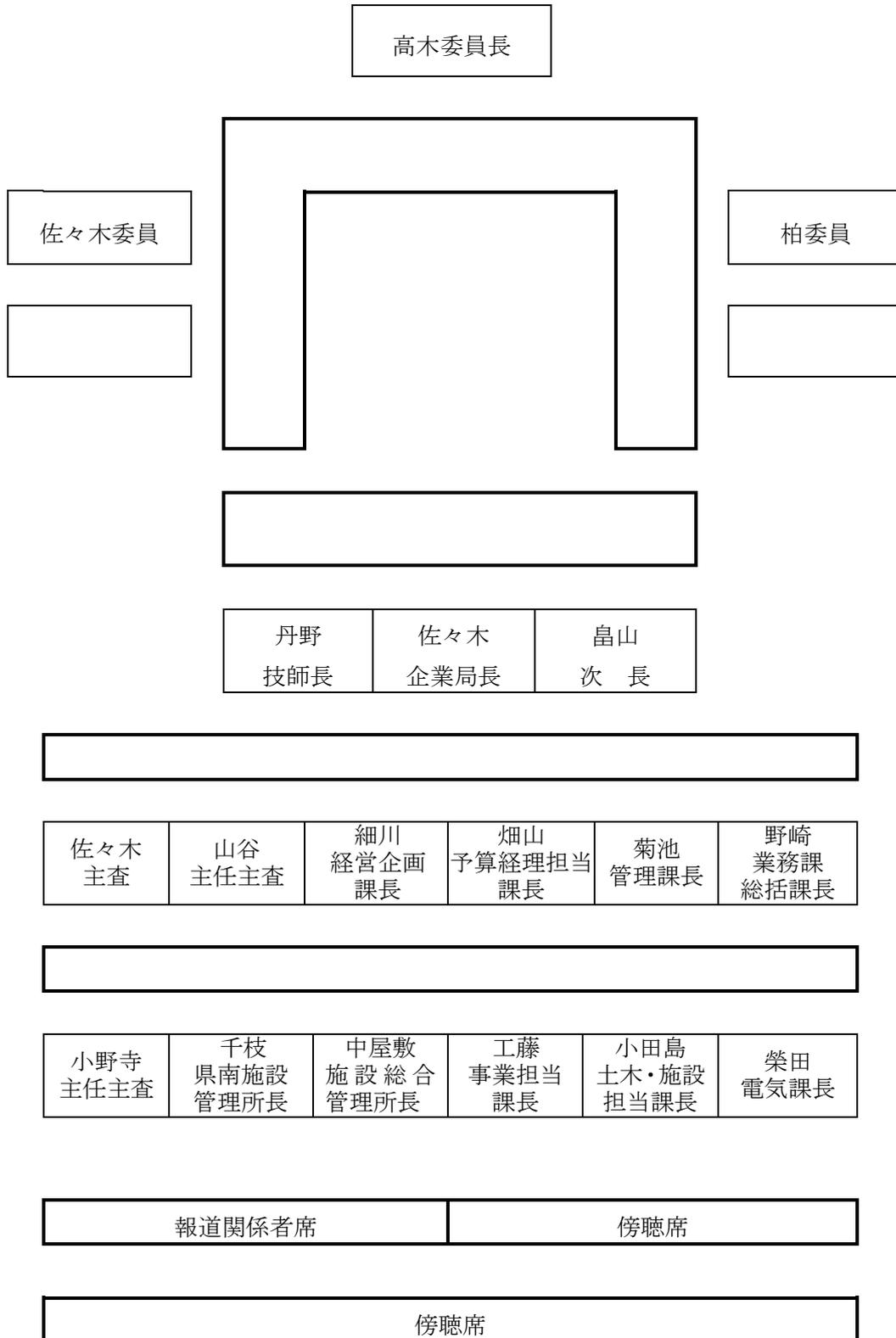
岩手県民会館 (盛岡市内丸 13 番 1 号) 第一会議室 (4 階)

委員長	岩手大学工学部教授	たかき こういち 高木 浩一	
委員	東北公営企業株式会社 代表取締役社長	かしわ まきこ 柏 眞喜子	
〃	佐々木経営システム研究所	ささき みつぐ 佐々木 貢	
〃	株式会社浜銀総合研究所 地域経営研究室 室長	さとう ゆうや 佐藤 裕弥	欠席
企業局	局長	ささき ゆきひろ 佐々木 幸弘	
〃	次長兼経営総務室長	はたけやま ちよし 畠山 智禎	
〃	技師長	たんの きつや 丹野 幸矢	
〃	業務課総括課長	のざき あきひろ 野崎 明裕	
〃	施設総合管理所長	なかやしき とおる 中屋敷 暢	
〃	県南施設管理所長	ちえだ たいこう 千枝 泰航	
〃	経営総務室 管理課長	きくち みつる 菊池 満	
〃	経営総務室 主幹兼予算経理担当課長	はたやま てつお 畑山 哲夫	
〃	業務課 事業担当課長	くどう かずや 工藤 一也	
〃	業務課 電気課長	さかえだ いわお 榮田 巖	
〃	業務課 土木・施設担当課長	おだしま こういち 小田島 公一	
事務局	経営総務室 経営企画課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おのでら しげお 小野寺 重男	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	ささき ゆういち 佐々木 裕一	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	よこみち しほ 横道 志保	

(委員 敬称略)

出席者数 19 名

平成 26 年度 第 1 回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表



(平成 26 年度第 1 回) 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

平成 26 年 6 月 13 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 00

岩手県民会館 (盛岡市内丸 13 番 1 号) 第一会議室 (4 階)

内 容	予定時間	備考
1 開会 2 あいさつ	14 : 00 ~ 14 : 05	
3 議事 (1) 中期経営計画における平成 25 年度の実績について ア 決算概要について	14 : 05 ~ 14 : 20	参考資料 1
イ 評価について	14 : 20 ~ 15 : 00	資料 1-1 資料 1-2 資料 1-3
(2) 平成 26 年度の取組みについて ア 進行管理・評価スケジュールについて	15 : 00 ~ 15 : 10	資料 2
イ 経営目標について	15 : 10 ~ 15 : 25	資料 3-1 資料 3-2
ウ 行動計画について	15 : 25 ~ 15 : 45	資料 3-1 資料 3-2 資料 3-3 資料 4
(3) その他	15 : 45 ~ 15 : 50	
4 その他	15 : 50 ~ 15 : 55	
5 閉会	15 : 55	

I 電気事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）																
信頼性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆供給電力量</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>521,862 MWh</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>629,896 MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>121 %</td> </tr> </table>	目標	521,862 MWh	実績	629,896 MWh	達成率	121 %	<p>【分析・評価】</p> <p>1 出水率は 120%となり、年間を通じて好調であったため、供給電力量も 629,896MWh と目標の 121%を達成し、非常に良好な結果となった。</p> <p>2 作業前後のミーティングの実施やOJT（職場内教育）、安全研修の実施など、安全で適切な作業の実施に努め、供給支障は年間で3件、また、停電時間及び停電電力量もそれぞれ5.1時間、90MWhとなり、前中期経営計画期間の平均をそれぞれ下回る結果となったことから、安定供給に向けた取組みの成果が表れたものと思われる。</p> <p>3 8月に県央部での豪雨や9月に台風による河川の流入量の激増や土砂崩れ等の自然災害が発生したが、関係機関と連携して復旧作業を実施した。（別紙1）また、北ノ又発電所や松川発電所の応急復旧箇所については、平成26年度に本格復旧工事を実施する予定となっている。</p> <p>4 稲庭高原風力発電所は、8月から11月にかけて3号機が故障（固定子絶縁不良）のため停止したが、風車の耐雷化工事や計画的な点検などを行った結果、年間の利用可能率は86%となり、指標の目標を上回る結果となった。</p> <p>5 主な工事については、概ね計画どおり実施した。</p>										
	目標	521,862 MWh																
実績	629,896 MWh																	
達成率	121 %																	
<p>《行動計画》</p> <p>◇安定供給に向けた取組み</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table>	評価	aa																
評価	aa																	
経済性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆経常収支比率</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>112 %</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>AA</td> </tr> </table>	目標	107 %	実績	112 %	達成度	AA	<p>【分析・評価】</p> <p>1 供給電力量の実績が目標を大きく上回る 121%であったため、電力料金収入額についても 103%と計画を上回った。</p> <p>2 未利用資産の処分のうち愛宕荘（旧職員公舎）の解体工事については、順調に進捗した。工事完了後、測量調査等を実施する予定であったが、資料確認等に時間を要したため、平成26年度に実施することとした。スクラップ処分については、売却金額合計が 4,889,955円となり、第4次中期経営計画3カ年分の目標金額1,100,000円を早くも達成した。</p> <p>3 支出については、事務費について全ての項目で目標を達成した。また、当初想定していなかった胆沢第二発電所の上部軸受分解点検補修、また、夏季に発生した大雨・台風による自然災害の復旧に要する費用等が生じたため、修繕費は当初計画額を上回ったが、委託費、改良費については、計画額を下回った。</p> <p>4 経常収支比率については、供給電力量が好調であったため、最終的に 112%となり、目標を大きく上回った。</p>										
	目標	107 %																
実績	112 %																	
達成度	AA																	
<p>《行動計画》</p> <p>◇収入の確保</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table> <p>◇支出の適正化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table>	評価	aa	評価	aa														
評価	aa																	
評価	aa																	
		<p>参考指標</p> <p>水力発電所の供給停止</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>件数（件）</td> <td>3.7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>時間（時間）</td> <td>106</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>電力量（kWh）</td> <td>140,089</td> <td>90,000</td> </tr> </table> <p>風力発電所の利用可能率</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>80 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>86 %</td> </tr> </table>		目標	実績	件数（件）	3.7	3	時間（時間）	106	5.1	電力量（kWh）	140,089	90,000	目標	80 %	実績	86 %
	目標	実績																
件数（件）	3.7	3																
時間（時間）	106	5.1																
電力量（kWh）	140,089	90,000																
目標	80 %																	
実績	86 %																	
		<p>参考：収入・支出の実績(百万円)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>収入額</td> <td>支出額</td> <td>経常利益</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>4,192</td> <td>3,917</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,334</td> <td>3,855</td> <td>479</td> </tr> </table>		収入額	支出額	経常利益	計画	4,192	3,917	275	実績	4,334	3,855	479				
	収入額	支出額	経常利益															
計画	4,192	3,917	275															
実績	4,334	3,855	479															

平成 25 年度 経営評価総括表（実績）（2/4）（案）

	経営目標と実績、行動計画評価	経営評価（分析とコメント）			
新規開発の推進	< 経営目標 >	【分析・評価】 1 胆沢第三発電所の建設については、共同事業者である電源開発株式会社や胆沢ダム工事事務所と連絡調整を密接に行い、計画どおり工事を進めた。また、東北電力株式会社から F I T（再生可能エネルギー固定価格買取制度）特定契約の締結に向けた合意を受け、基本協定の改定などを行い、建設工事や各種手続等今後も着実に取り組んでいくこととする。 2 新規開発候補地点の築川地点については、経済性で優位であるとの結果が得られたことから局内で開発着手に向けた準備に取り組むこととした。向井ノ沢地点は、国の調査事業とは別に建設費の低減などに関する追加調査を実施し、採算性を確保できる可能性があるとの結果が得られたため、引き続き検討することとした。荒沢地点については、概略設計の結果、経済性に劣るほか、維持管理面での課題もあることから、当面の調査を中断することとした。有根沢地点は、経済性等について再検討を実施したが、事業化が困難であるため開発の中止を決定し、これまでの調査費を精算処理した。 3 高森高原風力発電所開発では、環境影響調査及び風況観測調査を実施し、調査結果を取りまとめた。また、風力発電システム詳細設計業務委託契約及び変電所・送電線概略設計等の取りまとめを行った。 4 太陽光発電所は、平成 25 年度の実績で一部遅れがあったため、事業工程を適切に見直しながら平成 26 年 11 月の運転開始に向け、建設の推進の取り組みを実施した。			
	◆胆沢第三発電所建設の推進 平成 26 年 7 月運転開始		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">達成度</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	達成度	A
	達成度		A		
	◆水力開発候補地点の選定・可能性調査		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">達成度</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	達成度	A
	達成度		A		
	◆高森高原風力発電所（仮称）建設の推進 平成 29 年運転開始		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">達成度</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	達成度	A
達成度	A				
◆北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設 平成 26 年 6 月運転開始	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">達成度</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	達成度	B		
達成度	B				
< 行動計画 >					
◇新規水力開発への取り組み	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">a a</td> </tr> </table>	評価	a a		
評価	a a				
◇再生可能エネルギー導入への取り組み	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> </table>	評価	a		
評価	a				

II 工業用水道事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）																													
信頼性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆基本料金算定水量(契約水量)</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>14,508 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>14,504 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100 %</td> </tr> </table> <p>◆配管耐震化率</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>46%</td> </tr> </table> <p>《行動計画》</p> <p>◇安定供給に向けた取組み</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table>	目標	14,508 千 m <sup>3</sup>	実績	14,504 千 m <sup>3</sup>	達成率	100 %	目標	46%	実績	46%	評価	aa	<p>【分析・評価】</p> <p>1 供給支障は設備不良による 1 件 2.43 時間、約 1,000 m<sup>3</sup>発生したが、職員の迅速な対応によって早期に復旧し供給を再開した。</p> <p>2 作業等による計画的な給水停止は、約 3,000 m<sup>3</sup>であり、供給支障と併せ、基本料金算定水量は目標を約 4,000 m<sup>3</sup>下回った。</p> <p>3 8 月の集中豪雨に伴う過去に例のない河川水の異常高濁度時には、40 時間以上にわたって職員が適切な対応を実施したことにより、工業用水の給水を停止することなく供給を継続し、信頼性の確保に大いに貢献した。（別紙 2）</p> <p>4 主な工事及び配管更新（耐震化）については、計画どおり実施し目標を達成した。</p> <p>5 各種施設の更新改良及び点検補修については、「工業用水道施設更新・耐震対策・アセットマネジメント※<sup>1</sup> 指針（平成 25 年 3 月経産省）」を導入することとし、これまでの実績を踏まえて更新改良の見直し及び点検補修周期の延長を検討し、10 ヶ年計画の見直しを実施した。</p> <p style="text-align: right;">※ 1 設備管理</p>																	
	目標	14,508 千 m <sup>3</sup>																													
実績	14,504 千 m <sup>3</sup>																														
達成率	100 %																														
目標	46%																														
実績	46%																														
評価	aa																														
経済性の確保	<p>《経営目標》</p> <p>◆経常収支比率</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>110 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>116 %</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>AA</td> </tr> </table> <p>◆累積欠損金</p> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>50 百万円以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>解消</td> </tr> </table> <p>《行動計画》</p> <p>◇収入の確保</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table> <p>◇支出の適正化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table> <p>◇自立経営への取組み</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>aa</td> </tr> </table>	目標	110 %	実績	116 %	達成度	AA	目標	50 百万円以下	実績	解消	評価	aa	評価	aa	評価	aa	<p>【分析・評価】</p> <p>1 新規ユーザーの給水開始があったものの、既存ユーザーの使用廃止等もあり、契約水量としては、日量で一般水が 3,600 m<sup>3</sup>、ろ過水が 4,000 m<sup>3</sup>減少した。</p> <p>2 契約水量の減量に伴い収入は減少したが、費用を効率的に執行し、支出の縮減を図ったことから、経常収支比率が目標を大きく上回るとともに、累積欠損金が解消された。</p> <p>3 未利用資産のうち、大堤公舎（旧職員公舎）跡地については、一般競争入札（新聞広告の活用）、先着順売払い（受付期間 5 か月）に付したが、売払いには至らなかった。</p> <p>4 これまで北上市に委託していた業務委託については、北上市の水道事業が新たに設立する企業団に統合されることになったため、平成 26 年度以降の管理運営に関する協定書を新企業団と締結（3/20）するなど、円滑に業務を移行した。</p> <p>参考：収入・支出の実績(百万円)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>収入額</td> <td>支出額</td> <td>経常利益</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>951</td> <td>866</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>909</td> <td>786</td> <td>123</td> </tr> </table>			収入額	支出額	経常利益	計画	951	866	85	実績	909	786	123
	目標	110 %																													
実績	116 %																														
達成度	AA																														
目標	50 百万円以下																														
実績	解消																														
評価	aa																														
評価	aa																														
評価	aa																														
	収入額	支出額	経常利益																												
計画	951	866	85																												
実績	909	786	123																												
		参考指標	<p>供給支障事故の状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>件数（件）</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>時間（時間）</td> <td>0</td> <td>2.43</td> </tr> <tr> <td>供給支障（千 m<sup>3</sup>）</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>		目標	実績	件数（件）	0	1	時間（時間）	0	2.43	供給支障（千 m <sup>3</sup> ）	0	1																
	目標	実績																													
件数（件）	0	1																													
時間（時間）	0	2.43																													
供給支障（千 m <sup>3</sup> ）	0	1																													

### Ⅲ 地域貢献

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価（分析とコメント）						
地域貢献の推進	《 経営目標 》	<b>【分析・評価】</b> 1 クリーンエネルギー導入支援事業について、震災仮設住宅周辺に 46 灯の LED 街灯を設置するなど、5 件（3 市、2 団体）に対し、9,747 千円の支援を実施。 2 温暖化対策等への取組みについては、各事業所で様々な取組みを実施した結果、温室効果ガスの排出量は 1,894t となり、目標値の 2,282 t と比べて 388 t 下回った。 3 情報公開・PR については、施設見学会を 7 月 27 日に開催し、県民 130 名が参加した（平成 24 年度 153 名参加）。次年度は新規発電所の運転開始もあることから、コース設定等の検討を実施して開催する。また発電所等見学については、学生や一般県民などに働きかけを実施することにより、1,545 名（昨年度比 192 名増）を受け入れており、今後も積極的に見学者を受け入れていくこととする。						
	◆ 支援対象者等による評価							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;"><b>目標</b></td><td style="text-align: center;"><b>80 %</b></td></tr> <tr><td><b>実績</b></td><td style="text-align: center;"><b>99 %</b></td></tr> <tr><td><b>達成度</b></td><td style="text-align: center;"><b>A A</b></td></tr> </table>		<b>目標</b>	<b>80 %</b>	<b>実績</b>	<b>99 %</b>	<b>達成度</b>	<b>A A</b>
	<b>目標</b>		<b>80 %</b>					
	<b>実績</b>		<b>99 %</b>					
	<b>達成度</b>		<b>A A</b>					
	◆ 温室効果ガス排出量の削減							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;"><b>目標</b></td><td style="text-align: center;"><b>2,282t 以下</b></td></tr> <tr><td><b>実績</b></td><td style="text-align: center;"><b>1,894 t</b></td></tr> <tr><td><b>達成度</b></td><td style="text-align: center;"><b>A</b></td></tr> </table>		<b>目標</b>	<b>2,282t 以下</b>	<b>実績</b>	<b>1,894 t</b>	<b>達成度</b>	<b>A</b>
	<b>目標</b>		<b>2,282t 以下</b>					
	<b>実績</b>		<b>1,894 t</b>					
<b>達成度</b>	<b>A</b>							
《 行動計画 》								
◇ クリーンエネルギー導入促進等								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;"><b>評価</b></td><td style="text-align: center;"><b>a a</b></td></tr> </table>	<b>評価</b>	<b>a a</b>						
<b>評価</b>	<b>a a</b>							
◇ 環境保全活動等への取組み								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;"><b>評価</b></td><td style="text-align: center;"><b>a a</b></td></tr> </table>	<b>評価</b>	<b>a a</b>						
<b>評価</b>	<b>a a</b>							
◇ 情報公開・PR								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;"><b>評価</b></td><td style="text-align: center;"><b>a a</b></td></tr> </table>	<b>評価</b>	<b>a a</b>						
<b>評価</b>	<b>a a</b>							

## 平成 25 年 9 月 16 日の台風 18 号通過時の対応等について（電気事業）

平成 25 年 9 月 16 日は、東北地方に停滞する前線の活動が活発化し、また、台風 18 号が接近したことから、松尾で 48.5 ミリ（16 日 15:16）の日最大 1 時間降水量を観測した。降り始め（15 日 5:00）からの総降水量は、松尾で 195.5 ミリを観測するなど、県の北部を中心に 150 ミリを超える大雨となった。

この大雨により八幡平市内の発電施設に大きな被害が発生し、発電を再開するために多くの復旧作業等を実施した。詳しい状況及び対応等については、次のとおり。

## 1. 北ノ又発電所について（分解点検補修工事に伴い発電停止中（8/20～1/16）であったもの）

現場状況・施設等の被害状況	対応状況・補修・復旧状況
建屋の主要変圧器室の壁面及びガラリの損傷	応急復旧後、平成 25 年度に本復旧済み
構内フェンスの破損及び流出	応急復旧後、平成 25 年度に本復旧済み
水車発電機分解点検のため構内に置いていたタービン油及び不凍液のドラム缶が河川へ流出（各 1 本）	警察、消防及び関係機関（八幡平市、盛岡市、森林管理署、岩手県土木部）に届出・報告を実施（9/18～9/20） 職員が河川を捜索するが発見には至らず。（9/19）
水車発電機分解点検のため建屋横に置いていた除雪機が河川へ流出（1 台）	警察、消防及び関係機関（八幡平市、盛岡市、森林管理署、岩手県土木部）に届出・報告を実施（9/18～9/20） 職員が河川を捜索するが発見には至らず（9/19）
構内に土砂等が流入し、大量に堆積（ドラフト（吸出し管）にも流入）	職員による建屋内の土砂撤去を実施 委託業者の重機及び人力により構内等の土砂撤去作業を実施（構内：9/17～9/18 建屋裏：9/30～10/2、ドラフト：10/5、10）
若旗沢川取水堰堤の流路変更による取水不能	仮復旧済み。平成 26 年度中に本復旧予定

## 2. 北ノ又第二発電所について（台風による発電停止（9/16～9/17））

現場状況・施設等の被害状況	対応状況・補修・復旧状況
発電所内の一部への浸水	職員による発電所内の清掃実施（9/17） 進入した雨水による機器の損傷はないことを確認（9/17）
取水口の排砂ゲート底部戸当たりの破損	平成 26 年度中に本復旧の予定（復旧には止水する必要があり角落とし製作が伴うため）
発電所管理用道路の法面崩落	崩落土砂を撤去（9/18）
取水口管理用道路の法面崩落（通行不能）	平成 25 年度に仮復旧済み 平成 26 年度中に本復旧予定
赤川取水堰堤の下流の護岸基礎洗掘及び河床洗掘	平成 26 年度中に本復旧予定

3. 松川発電所について（台風による発電停止（9/16～9/20））

現場状況・施設等の被害状況	対応状況・補修・復旧状況
水槽及び水圧鉄管等への土砂流入	水槽の土砂吐き作業実施（9/18） 水槽堆積土砂の人力除去（9/20） 水圧鉄管内部の土砂はデフレクタ放流により除去し本復旧済み（9/20） 発電所運転再開（9/20）
取水堰堤への土砂堆積	松川取水堰堤の土砂吐き作業実施（9/17） 焼切取水堰堤の土砂吐き作業実施（9/18）
焼切川取水堰堤スクリーンの破損	補修工事にて復旧
ゴム堰の固定金具カバーの破損	メーカー点検を実施し、継続使用が可能であることを確認（9/19）。経過を観察しながら継続使用中 平成26年6月に補修工事を実施予定
無名沢流路工に大量の転石や土砂堆積 キュービクル周辺及び管理用道路等に泥が流入堆積	無名沢等の土砂除去実施（11/20）
水圧管路管理用道路の洗掘	砕石補充を実施（11/23）
放水口の土砂による閉塞	委託業者の重機及び人力により土砂の除去を実施（10/18）し、仮復旧済み

4. 柏台発電所について（水圧鉄管塗装工事による発電停止中（9/9～11/22）であったもの）

現場状況・施設等の被害状況	対応状況・補修・復旧状況
水圧鉄管塗装工事に伴い水車発電機は停止中であった（9/9～11/22 工事期間）が、放水口に大量の土砂が堆積	委託業者の重機及び人力作業により土砂除去を実施（11/15）

《 企業局発電施設等の被害状況写真 》

◎ 北ノ又発電所被害状況



【発電所構内への土砂流入状況】



【発電所裏の斜面と建屋の損壊状況】



【主要変圧器室に流入した土砂】



【主要変圧器室の側壁の損壊状況】

◎ 北ノ又第二発電所被害状況



【管理用道路法面崩落状況】



【管理用道路崩落状況】

◎ 松川発電所被害状況



【取水口ゴム堰付近に大量に堆積した土砂】



【取水口ゴム堰状況（通常時）】



【取水口ゴム堰の固定金具カバー破損状況】



【放水口の土砂による閉塞状況】

◎ 柏台発電所被害状況



【放水路の土砂堆積状況】

## 平成 25 年 8 月 9 日の大雨・洪水に起因する高濁度への対応について（工業用水道事業）

平成 25 年 8 月 9 日（金）は、1 日当たりの総降水量が、雫石で 264.0 ミリを観測するなど、盛岡地域、花北地域を中心に 200 ミリを超える記録的な大雨となった。

この大雨と洪水により北上川の濁度（河川水の濁りの度合いを表す指標）が急上昇したため、8 月 9 日（金）夕方から 11 日（日）の朝にかけて 24 時間体制で現場対応等を実施した結果、工業用水の供給停止を回避することができた。

当日の状況及び対応等については、次のとおり。

### 1 北上川の濁度の上昇について（参考データ参照）

北上川の濁度は、8 月 9 日（金）の 13 時 30 分頃から上昇し始め、10 日（土）の 8 時頃まで非常に高い数値となった。

### 2 濁度上昇への対応について

北上川の濁度の上昇により、工業用水の処理水である「一般水」の濁度も上昇したため、8 月 9 日（金）から 11 日（日）にかけて工業用水課職員 7～3 名が、「24 時間連続の監視」、「手動による機器の運転及び薬品の注入」並びに「バルブ操作による浄化処理施設の切替」等の対応を行ったところ、処理水の濁度を基準値以内に抑えることができ、工業用水の供給停止を回避することができた。

また、一般水を更に浄化した「ろ過水」の濁度は、ほとんど変化が見られなかった。

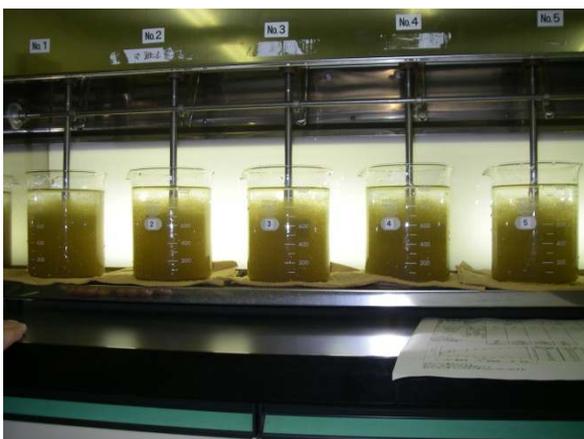
その後、8 月 11 日（日）午前 9 時 30 分には北上川の濁度が下がって来たため、自動運転に切り替えることとし、約 40 時間にも及ぶ現場対応を終了した。



【8 月 9 日 17 時頃の北上川の様子】



【8 月 9 日の処理前の水の様子】



【8 月 9 日の薬品注入の効果を確認する試験の様子】

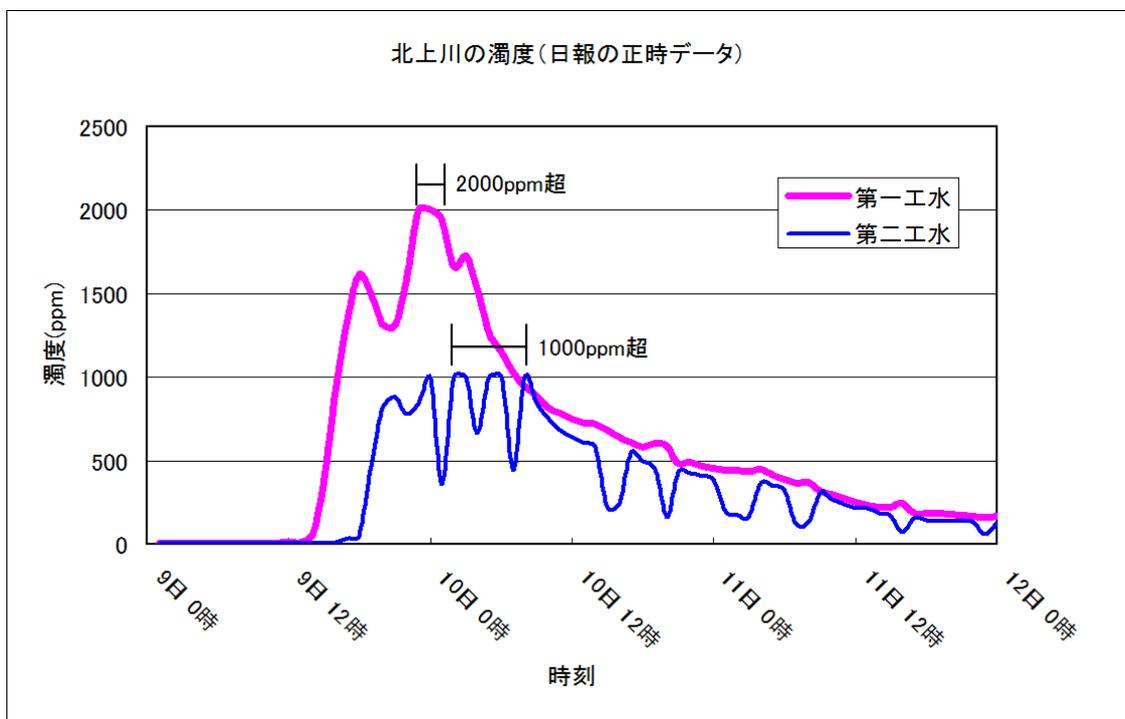


【通常時の沈澱池の様子】

【参考データ】

各施設の最高濁度は以下のとおり。（カッコ内は8月9日 0:00の濁度）

	原水	処理水	
北上工業用水道	2000ppm超 (7.2)	6.2ppm (1.1)	※2000ppm超 は過去最高
第三工業用水道	2000ppm超 (6.7)	12.2ppm (0.4)	
第二工業用水道	1000ppm超 (3.9)	0.9ppm (0.2)	※1000ppm超 は過去最高
北上ろ過施設	6.0ppm超 (0.3)	0.06ppm (0.05)	
金ヶ崎ろ過施設 (1期)	0.6ppm (0.3)	0.05ppm (0.02)	



参考

供給規程(濁度)	
一般水	15ppm以下
ろ過水	0.5ppm以下

【様式 2】

平成 25 年度 電気事業 信頼性の確保 管理・評価集計表（実績）（1/7）（案）

資料 1-2  
（外部）

経営方針	経営目標		分析及びコメント																																																										
<b>電気事業</b> <b>1 信頼性の確保</b> 施設の適切な維持管理のもと、水力発電を中心としたクリーンな電力の安定供給に努める。	供給電力量（年度末実績） <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>521,862 MWh</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>629,895 MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率※1</td> <td>121 %</td> </tr> </table>		目標	521,862 MWh	実績	629,895 MWh	達成率※1	121 %	1 出水率は120%となり、年間を通じて好調であったため、供給電力量も629,896MWhと目標の121%を達成し、非常に良好な結果となった。 2 作業前後のミーティングの実施やOJT（職場内教育）、安全研修の実施など、安全で適切な作業の実施に努め、供給支障は年間で3件、また、停電時間及び停電電力量もそれぞれ5.1時間、90MWhとなり、前中期経営計画期間の平均をそれぞれ下回る結果となったことから、安定供給に向けた取組みの成果が表れたものと思われる。 3 8月に県中部での豪雨や9月に台風による河川の流入量の激増や土砂崩れ等の自然災害が発生したが、関係機関と連携して復旧作業を実施した。（別紙1）また、北ノ又発電所や松川発電所の応急復旧箇所については、平成26年度に本格復旧工事を実施する予定となっている。 4 稲庭高原風力発電所は、8月から11月にかけて3号機が故障（固定子絶縁不良）のため停止したが、風車の耐雷化工事や計画的な点検などを行った結果、年間の利用可能率は86%となり、指標の目標を上回る結果となった。 5 主な工事については、概ね計画どおり実施した。																																																				
目標	521,862 MWh																																																												
実績	629,895 MWh																																																												
達成率※1	121 %																																																												
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等		区分評価	評価																																																							
<b>(1) 安定供給に向けた取組</b> <b>【指標】 供給支障件数</b> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>3.7 件/年以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3 件</td> </tr> </table> ※目標：H22～24の3カ年平均 <b>【指標】 停電時間</b> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>106 時間/年以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5.1 時間</td> </tr> </table> ※目標：H22～24の3カ年平均 <b>【指標】 停電電力量</b> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>140 MWh/年以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>90 MWh</td> </tr> </table> ※過去平均：H22～24の3カ年平均 <b>【指標】 風力発電所の利用可能率</b> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>86 %</td> </tr> </table>	目標	3.7 件/年以下	実績	3 件	目標	106 時間/年以下	実績	5.1 時間	目標	140 MWh/年以下	実績	90 MWh	目標	80%	実績	86 %	<b>①安全で適切な作業等の実施</b>  <b>②計画的な更新、改良、修繕工事等の実施</b>  <b>③保守要則の見直し</b>	失敗事例、事故事例の情報収集・共有化（随時）	1 年間工事打合せ（電気機械 4/22, 25, 26, 5/16, 土木 4/9, 12） ① 仙人発電所 配電盤更新等・OH（オーバーホール）、入口弁更新（配電盤 H22～H26.2、所変 H22～H25.3、1号 OH H23～H25.3、2号 OH H24～H26.3、入口弁 H25～H26.）⇒配電盤更新等、2号 OH（3月完成） ② 四十四田発電所 OH、主要変圧器更新、天井クレーン補修等（OH H25～H26、主変 H25～H26、天井クレーン H26）⇒主要変圧器更新（2/13 契約） ③ 御所発電所 配電盤更新等・OH（H24～26）⇒配電盤更新他（11/6, 12/12 部分使用開始） ④ 北ノ又発電所 入口弁電動化等・OH（H24～25）⇒完成（3/10） ⑤ 入畑発電所 法面崩落防止（雪崩対策）（H25）⇒契約（10/3）、完成（3/20） ⑥ 松川発電所 松川取水堰堤法面对策補修（アーカー工）（H25）⇒完成（12/24） ⑦ 施設総合管理所 集中監視制御システム更新（H24-26）⇒機器製作状況確認検査（3/26, 27）	2 修繕・改良計画の策定及び検証（10カ年計画）⇒ヒヤリング（8/21～23）、報告（9/20）、決定・通知（9/30） 3 国営事業（岩手山麓）との連携事業推進⇒覚書締結（3/28） 4 維持管理方針内容策定⇒ワーキンググループ会議（11/25）、方針策定（3/6） 北ノ又第二発電所施設台帳・データベース整備（施設総合管理所実施）	10カ年計画の策定 共同事業者との連携 土木施設の長寿命化 その他	自然災害等への対応⇒台風18、26号による北ノ又発電所建屋復旧工事、松川発電所土砂排出・水位計復旧作業等実施 1 保守要則の随時見直し⇒機器の更新等による改定（4/1）、また、巡視点検に対する主任技術者の職務を明確化するため改定を実施した。 胆沢第三発電所の運転開始に伴う追加検討を実施した。	内部 A	a a  A  進行 A																																					
	目標	3.7 件/年以下																																																											
	実績	3 件																																																											
	目標	106 時間/年以下																																																											
	実績	5.1 時間																																																											
	目標	140 MWh/年以下																																																											
	実績	90 MWh																																																											
	目標	80%																																																											
	実績	86 %																																																											
	<b>【備考】</b> ■ 四半期毎の状況																																																												
供給電力量 (MWh) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1/4</td> <td>2/4</td> <td>3/4</td> <td>4/4</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>198,464</td> <td>125,903</td> <td>83,771</td> <td>113,724</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>212,265</td> <td>180,656</td> <td>116,731</td> <td>120,243</td> </tr> </table>			1/4	2/4	3/4	4/4	目標	198,464	125,903	83,771	113,724	実績	212,265	180,656	116,731	120,243	供給支障状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1/4</td> <td>2/4</td> <td>3/4</td> <td>4/4</td> </tr> <tr> <td>供給支障件数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>停電時間 (H)</td> <td>0</td> <td>3.9</td> <td>0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>停電電力量 (MWh)</td> <td>0</td> <td>56.5</td> <td>0</td> <td>33.5</td> </tr> </table>			1/4	2/4	3/4	4/4	供給支障件数	0	2	0	1	停電時間 (H)	0	3.9	0	1.2	停電電力量 (MWh)	0	56.5	0	33.5	■ 供給支障件数の過去平均と原因別比較 <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>H22～24 平均</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>人的ミス等</td> <td>0.3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備不良等</td> <td>2.0</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自然現象等</td> <td>1.3</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		区分	H22～24 平均	H25	H26	H27	人的ミス等	0.3	1			設備不良等	2.0	2			自然現象等	1.3	0			供給支障発生月日 7/31 施設名 8/28 仙人 事故名称 岩洞第二 起動洪水 設備不良 岩洞第二 冷却水断水 設備不良 軸受冷却水減 人的ミス
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																									
目標	198,464	125,903	83,771	113,724																																																									
実績	212,265	180,656	116,731	120,243																																																									
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																									
供給支障件数	0	2	0	1																																																									
停電時間 (H)	0	3.9	0	1.2																																																									
停電電力量 (MWh)	0	56.5	0	33.5																																																									
区分	H22～24 平均	H25	H26	H27																																																									
人的ミス等	0.3	1																																																											
設備不良等	2.0	2																																																											
自然現象等	1.3	0																																																											

※ 達成率※1=実績÷目標×100、達成率※2=（目標-実績）÷目標×100+100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。（ ）は見込時の評価。

【様式 2】

平成 25 年度 電気事業 経済性の確保 管理・評価集計表（実績）（2/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント								
電気事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、安定経営の維持を図る。	経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>112 %</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>AA</td> </tr> </table>		目標	107 %	実績	112 %	達成度	AA	1 供給電力量の実績が目標を大きく上回る 121%であったため、電力料金収入額についても 103%と計画を上回った。 2 未利用資産の処分のうち愛宕荘（旧職員公舎）の解体工事については、順調に進捗した。工事完了後、測量調査等を実施する予定であったが、資料確認等に時間を要したため、平成 26 年度に実施することとした。スクラップ処分については、売却金額合計が 4,889,955 円となり、第 4 次中期経営計画 3 カ年分の目標金額 1,100,000 円を早くも達成した。 3 支出については、事務費について全ての項目で目標を達成した。また、当初想定していなかった胆沢第二発電所の上部軸受分解点検補修、また、夏季に発生した大雨・台風による自然災害の復旧に要する費用等が生じたため、修繕費は当初計画額を上回ったが、委託費、改良費については、計画額を下回った。 4 経常収支比率については、供給電力量が好調であったため、最終的に 112%となり、目標を大きく上回った。		
目標	107 %										
実績	112 %										
達成度	AA										
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価						
(1) 収入の確保  【指標】収入額（実績） <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>4,192 百万円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,334 百万円</td> </tr> <tr> <td>達成率※1</td> <td>103%</td> </tr> </table>	計画	4,192 百万円	実績	4,334 百万円	達成率※1	103%	④適正料金の確保	1 料金改定協議について東北電力㈱と協議成立 2 胆沢第三発電所に係る料金協議及び受給契約締結 3 電力システム改革等に関する情報収集、対応検討	1 料金改定協議 ⇒ 北海道・東北ブロック電気料金担当委員会（10/31）での情報収集、東北電力株式会社への一次提案（12/20）。卸供給条件を届出（3/10） 2 胆沢第三発電所に係る東北電力株式会社との協議・電力受給契約締結、卸供給条件届出 ⇒ 再生可能エネルギー発電設備の認定取得（2/21）し、既設基本協定等の改定実施（3/31）。 3 情報収集及び調査検討（基本契約・需給契約関係、契約手続き関係、事業影響関係等）⇒ 電力システム改革に係る WG 開催（10/8, 10, 15, 11/20, 12/3, 26, 1/7, 15, 21, 3/3, 20, 24）	内部 A	a a
	計画	4,192 百万円									
	実績	4,334 百万円									
達成率※1	103%										
	⑤施設運用と機器の効率化	1 合理的な年間作業停止計画等の策定 ⇒ 平成 26・27 年度の作業停止計画を確定（3/17） 2 機器更新に伴う高効率機器の導入検討（工事発注時及び予算要求時） 3 高効率機器への更新⇒御所発電所水車テナイルス化（3/8 運転開始）、北ノ又発電所主弁・ガバベン用サボモータ電動化実施（1/16 運転開始）	1 合理的な年間作業停止計画等の策定 ⇒ 平成 26・27 年度の作業停止計画を確定（3/17） 2 機器更新に伴う高効率機器の導入検討（工事発注時及び予算要求時） 3 高効率機器への更新⇒御所発電所水車テナイルス化（3/8 運転開始）、北ノ又発電所主弁・ガバベン用サボモータ電動化実施（1/16 運転開始）	進行 A							
	⑥その他	1 未利用資産の処分に係る情報収集 2 預金利息（H25 予算：11,864 千円）	1 未利用資産の処分等 ⇒ 愛宕荘（旧職員公舎）解体工事完成（10/25）。測量調査等については、来年度実施予定。スクラップ処分の実績は、4,889,955 円となり、目標を大きく上回った。 2 効果的な資金運用 ⇒ 随時、現金収支見通しに基づき適切な資金運用を実施 電気事業会計利息収入額 17,654,585 円（H25 予算額 11,864,000 円）	進行 A							
(2) 支出の適正化  【指標】支出額（実績） <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>3,912 百万円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3,855 百万円</td> </tr> <tr> <td>達成率※2</td> <td>99%</td> </tr> </table>	計画	3,912 百万円	実績	3,855 百万円	達成率※2	99%	⑦経費の効率的な執行		1 消耗品費等の効率的な執行 ⇒ 事務費については全ての項目で目標を達成した。 2 工事費等の計画的な執行 ⇒ 修繕費については、大雨や台風などによる被害による計画外の修繕費用が発生したため、当初計画額を上回ったが、委託費、改良費については、計画額を下回った。	進行 A	a a
	計画	3,912 百万円									
実績	3,855 百万円										
達成率※2	99%										
	⑧業務の効率化		1 工事の計画的な施行の検討 ⇒ 北ノ又発電所回転子上昇に関する打合せ（12/11）、胆沢第二発電所上部軸受不具合復旧に係る打合せ実施（12/24） 2 土木施設の長寿命化【再掲】（維持管理方針内容策定、データベース整備年次計画策定、施設台帳・データベース整備（北ノ又第二発電所）⇒ 北ノ又第二発電所データベース整備を完了した。	進行 A							

【備考】

■ 四半期毎の状況（上段：目標、下段：実績）  
電力料（百万円）

	1/4	2/4	3/4	4/4
卸供給	1,081	980	917	962
	1,100	1,056	964	1,017
附帯事業	14	14	23	27
	17	28	19	31
計	1,095	994	940	989
	1,117	1,084	983	1,048
達成率	102%	109%	105%	106%

消耗品費等（千円）（上段：目標、下段：実績）

	1/4	2/4	3/4	4/4
消耗品費	12,727	12,727	12,727	12,728
	8,007	8,164	10,170	16,605
賃借料	7,604	2,022	2,022	2,025
	6,157	1,513	1,511	2,774
通信運搬費	8,884	8,884	8,884	8,887
	4,187	6,766	4,885	15,428
旅費	4,697	4,697	4,697	4,700
	3,154	3,529	5,001	3,674
雑費	8,439	8,439	8,439	8,442
	2,197	3,190	5,489	11,087

■ 工事費、委託費の状況（上段：目標、下段：実績）  
工事費、委託費実績（千円）

	修繕費	改良費	委託費
目標	721,036	1,248,106	327,275
実績	816,455	1,189,206	275,719

※ 達成率※1 = 実績 ÷ 目標 × 100、達成率※2 = (目標 - 実績) ÷ 目標 × 100 + 100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。（ ）は見込時の評価。

【様式 2】

平成 25 年度 電気事業 新規開発の推進 管理・評価集計表（実績）（3/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント		
<b>電気事業</b> <b>3 新規開発の推進</b> 地域エネルギーの活用や地球環境保全に貢献するため、再生可能エネルギーの導入を推進する。	胆沢第三発電所の建設の推進（スケジュール管理） 水力開発候補地点の選定・可能性調査		1 胆沢第三発電所の建設については、共同事業者である電源開発株式会社や胆沢ダム工事事務所と連絡調整を密接に行い、計画どおり工事を進めた。また、東北電力株式会社からFIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）特定契約の締結に向けた合意を受け、基本協定の改定などを行い、建設工事や各種手続等今後も着実に取り組んでいく。 2 新規開発候補地点の築川地点については、経済性で優位であるとの結果が得られたことから局内で開発着手に向けた準備に取り組むこととした。向井ノ沢地点は、国の調査事業とは別に建設費の低減などに関する追加調査を実施し、採算性を確保できる可能性があるとの結果が得られたため、引き続き検討することとした。荒沢地点については、概略設計の結果、経済性に劣るほか維持管理面での課題もあることから、当面の調査を中断することとした。有根沢地点は、経済性等について再検討を実施したが、事業化が困難であるため開発の中止を決定し、これまでの調査費を精算処理した。 3 高森高原風力発電所開発では、環境影響調査及び風況観測調査を実施し、調査結果を取りまとめた。また、風力発電システム詳細設計業務委託契約及び変電所・送電線概略設計等の取りまとめを行った。 4 太陽光発電所は、平成 25 年度の取組みで一部遅れがあったため、事業工程を適切に見直ししながら平成 26 年 11 月の運転開始に向け、建設の推進の取組みを実施した。		
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価
(1) 新規水力開発	⑨ 胆沢第三発電所の建設の推進	共同事業者である電源開発(株)や胆沢ダム工事事務所と綿密に協議を行いながら事業を進める。	1 胆沢第三発電所の建設の推進(平成 26 年度運開予定) ⇒ダム竣工式(11/16)、水圧鉄管工事、送電線工事完成、各種電気・機械設備据付実施。無水試験実施(3/24~3/31)。河川法一部使用承認申請検査(3/12) 2 FIT 活用に向けた東北電力株式会社との協議実施(10/9, 11/7)。再生可能エネルギー発電設備の認定取得(2/21)。東北電力(株)との特定契約締結に向けた既設基本協定等の改定(3/31)。	外部 A	a a
	⑩ 水力開発地点の調査	1 調査地点の流況を把握する。 2 築川地点の事業化の方向性を検討する。 3 向井ノ沢地点事業化の可能性を検討する。 4 有望地点のうち、1 地点の事業化の可能性を検討する。	① 流況把握 ⇒ 南本内、達曽部、荒沢、沿岸北部河川(3 地点)で観測を実施 ② 築川地点 ⇒ 基本設計中間打合せ実施(10/30, 11/21, 12/6)。完了報告(3/24) ③ 向井ノ沢地点 ⇒ 完了前打合せ(1/30)、報告書納品(3/26)。追加検討業務委託完了報告(3/24) ④ 有望地点 ⇒ 荒沢地点概略設計完了報告(2/28)、有根沢地点は、開発中止局内決裁(1/6)、平成 25 年度決算において特別損失を計上	外部 A	
(2) 再生可能エネルギー導入促進等	⑪ 高森高原風力発電所(仮称)の開発の推進	1 アセスメント方法の決定 2 早期現地調査に向けた業務の発注 3 早期風況観測に向けた業務の発注 4 風車配置・機種決定	1 環境影響評価 ⇒ 猛禽類調査の年度内取りまとめ(3/31)。平成 27 年度まで実施予定。 2 風況観測調査 ⇒ 風況データ取りまとめ(3/31)。平成 27 年度まで実施予定。 3 発電所設計 ⇒ 風力発電システム詳細設計業務委託(H25 分: 1/16 契約、3/20 完了)、変電所・送電線概略設計等取りまとめ(3/14) 4 用地交渉等 ⇒ 変電所建設候補地の地権者へ計画概要説明(12/19)	外部 A	a
	⑫ 北上大規模太陽光発電所(仮称)の建設の推進	1 プロポーザル(企画提案)競技による請負者の決定・契約締結 2 設計、建設工事の着実な実施 3 平成 25 年度調達価格に係る諸手続きの適切な実施 4 システム検討に係る諸手続き 5 補助金に係る諸手続きの適切な実施 6 住民説明会の実施、用地所屬替えの実施、保守要則の検討	① 公告・プロポーザル(企画提案)競技・契約関係⇒契約締結(9/30) ② 設計・工事関係 ⇒ 受注者による施工計画書・施工図面の作成(11 月中旬から) ③ 設備認定 ⇒ 設備認定申込み(1/17 日申込み、2/20 認定) ④ システム検討関係 ⇒ 東北電力(株)への系統連系接続申込み(3/12) ⑤ 補助金関係 ⇒ 平成 26 年度補助事業申請書提出(2/12, 2/26, 3/3)。平成 25 年度補助事業実績報告書提出(3/13, 3/28) ⑥ その他(住民説明、用地所屬替え等) ⇒ 事業用地取得関係手続き(2/28 教育委員会から所管換え、3/28 土地改良区から無償譲渡回答)。事業用地取得に係る測量及び登記業務(3/25 業務完了)。 埋蔵文化財調査や土地利用に係る調査等、当初想定外の取組が追加されるとともに、工事資材が想定以上に入手困難な状況から平成 26 年 6 月予定の運転開始は遅れる見込み。	外部 B	
	⑬ その他の再生可能エネルギーの調査研究	情報収集及び局内共有	① 情報収集の継続 ⇒ 他県との情報交換等(2/19~20 宮崎県、3/11 栃木県) ② 各種会議等への参画 ⇒ 諸外国における公営電気事業の実態に関する調査報告等(12/5)、三陸復興・海洋エネルギー実証フィールド検討委員会(1/20)、岩手県農業水利施設小水力発電推進協議会(1/22)	進行 A	
【備考】					
		胆沢第三発電所	北上大規模太陽光発電所(仮称)	高森高原風力発電所(仮称)	
	形式	ダム式	-	-	
	最大出力	1,500kW	1,009kW	25,300kW	
	所在地	奥州市	北上市	一戸町	
	総事業費	約 22 億円	約 5.7 億円	約 115 億円	
	工期	H23~H26	H25~H26	H25~H29	

※ 達成率\*1=実績÷目標×100、達成率\*2=(目標-実績)÷目標×100+100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。( )は見込時の評価。

【様式 2】

平成 25 年度 工業用水道事業 信頼性の確保 管理・評価集計表（実績）（4/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント																																																																							
工業用水道事業 1 信頼性の確保 施設の適切な維持管理のもと、良質な工業用水の安定供給に努める。	基本料金算定水量 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>14,508 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>14,504 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>達成率<sup>*1</sup></td> <td>100 %</td> </tr> </table> 耐震化率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>46 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>46 %</td> </tr> </table>		目標	14,508 千 m <sup>3</sup>	実績	14,504 千 m <sup>3</sup>	達成率 <sup>*1</sup>	100 %	目標	46 %	実績	46 %	1 供給支障は設備不良による 1 件 2.43 時間、約 1,000 m <sup>3</sup> 発生したが、職員の迅速な対応によって早期に復旧し供給を再開した。 2 作業等による計画的な給水停止は、約 3,000 m <sup>3</sup> であったため、供給支障と合算した実績は、目標を約 4,000 m <sup>3</sup> 下回った。 3 8 月の集中豪雨に伴う過去に例のない河川水の異常高濁度時には、40 時間以上にわたって職員が適切な対応を実施したことにより、工業用水の給水を停止することなく供給を継続したことから、信頼性の確保に大いに貢献した。（別紙 2） 4 主な工事及び配管更新（耐震化）については、計画どおり実施し目標を達成した。 5 各種施設の更新改良及び点検補修については、「工業用水道施設更新・耐震対策・アセットマネジメント <sup>*1</sup> 指針（平成 25 年 3 月経産省）」を導入することとし、これまでの実績を踏まえて更新改良の見直し及び点検補修周期の延長を検討し、10 ヵ年計画の見直しを実施した。 ※1 設備管理																																																													
目標	14,508 千 m <sup>3</sup>																																																																									
実績	14,504 千 m <sup>3</sup>																																																																									
達成率 <sup>*1</sup>	100 %																																																																									
目標	46 %																																																																									
実績	46 %																																																																									
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等			区分評価	評価																																																																			
(1) 安定供給に向けた取組  【指標】供給停止件数 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1 件</td> </tr> </table> ※過去平均：H22～24 の 3 ヶ年 平均 0.3 件/年  【指標】供給停止時間 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>0 時間</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.43 時間</td> </tr> </table> ※過去平均：H22～24 の 3 ヶ年 平均 0.7 時間/年	目標	0 件	実績	1 件	目標	0 時間	実績	2.43 時間	①安全で適切な作業等の実施	過去事例の収集と活用（随時）	1 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施（OJT の充実等）【再掲】⇒水質事故対策訓練実施（11/7）。 2 作業の準備、反省及び改善等 ⇒各種作業及び工事において、TBM/KY を実施。 3 事故事例等の活用 ⇒ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）配水ポンプ 起動不良による供給停止（5/22 2 時間 26 分）			内部 A	a a																																																											
	目標	0 件																																																																								
	実績	1 件																																																																								
	目標	0 時間																																																																								
実績	2.43 時間																																																																									
②計画的な更新、改良、修繕工事等の実施	工程管理 10 ヵ年計画の策定 配管更新（耐震化）の推進	1① 第二工水 2 池沈澱池機械設備更新工事 ⇒ 完成（3/14）。 ② 北上ろ過高圧受電盤等更新工事（H25～H26）⇒ H25 分出来高検査（3/19, 20） ③ 県南施設管理所大規模補修工事⇒完成（11/5）。 2 修繕・改良計画の策定及び検証（10 ヵ年計画） ⇒計画策定・通知（10/4）。 3④ 第一工水（北上工水）導水管更新工事⇒不断水工実施（12/5）。完成（3/18）。 ⑤ 第一工水配管更新の詳細設計⇒基準点測量追加及び掘削調査実績変更のための契約変更（11/1, 12/18）。完了（1/14）。 ⑥ 第二工水配管更新の詳細設計⇒完了（9/30）。	外部 A																																																																							
③維持管理要領の随時見直し		1 設備変更等によるマニュアルの見直し⇒太陽電池発電設備維持管理要領の改正（2/10 改正、2/12 施行）。維持管理要領及び関係マニュアルの改正（3/28 改正、4/1 施行）。	進行 A																																																																							
④関係機関との連携	フラシ配布等による広報・啓発活動、関係機関を通じた広報活動、関連イベントでの啓発活動 1 水質事故の情報提供 2 原発放射線影響対策に係る定期的な測定とその公表 3 広報活動	1 河川への油流出防止活動⇒盛岡駅前震災復興イベント等において、フラシ及びティッシュを配付し、啓発活動実施。水質汚濁防止対策連絡協議会油流出事故対策訓練に参加（11/7）。 2① ユーザーへの情報提供 ⇒河川国道事務所からの情報提供件数 65 件、ユーザーへの情報提供 19 件。 ② 放射線測定結果の公表⇒空間線量率等を測定実施し、ホームページで公表。 ③ 広報活動⇒ホームページに油流出事故防止（10/1）及び給水開始までの標準期間（11/27）等を掲載し、必要の都度、情報更新。	内部 A																																																																							
【備考】 ■四半期毎の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">基本料金算定水量（千 m<sup>3</sup>）</th> </tr> <tr> <th>1/4</th> <th>2/4</th> <th>3/4</th> <th>4/4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>3,825</td> <td>3,753</td> <td>3,493</td> <td>3,437</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3,821</td> <td>3,753</td> <td>3,493</td> <td>3,437</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">実給水量（千 m<sup>3</sup>）</th> </tr> <tr> <th>1/4</th> <th>2/4</th> <th>3/4</th> <th>4/4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見込み</td> <td>1,931</td> <td>1,931</td> <td>1,931</td> <td>1,933</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,809</td> <td>1,956</td> <td>1,846</td> <td>1,819</td> </tr> </tbody> </table> ※目標及び実績は年間給水量見込みを日数割り								基本料金算定水量（千 m <sup>3</sup> ）				1/4	2/4	3/4	4/4	目標	3,825	3,753	3,493	3,437	実績	3,821	3,753	3,493	3,437		実給水量（千 m <sup>3</sup> ）				1/4	2/4	3/4	4/4	見込み	1,931	1,931	1,931	1,933	実績	1,809	1,956	1,846	1,819																														
	基本料金算定水量（千 m <sup>3</sup> ）																																																																									
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																																						
目標	3,825	3,753	3,493	3,437																																																																						
実績	3,821	3,753	3,493	3,437																																																																						
	実給水量（千 m <sup>3</sup> ）																																																																									
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																																						
見込み	1,931	1,931	1,931	1,933																																																																						
実績	1,809	1,956	1,846	1,819																																																																						
■供給停止状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">供給支障事故</th> <th colspan="3">作業停止</th> </tr> <tr> <th>件数（件）</th> <th>時間（時間）</th> <th>停止水量（千 m<sup>3</sup>）</th> <th>件数（件）</th> <th>時間（時間）</th> <th>停止水量（千 m<sup>3</sup>）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/4</td> <td>1</td> <td>2.43</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>9.57</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2/4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3/4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4/4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>2.43</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>9.57</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> ■供給支障件数の過去平均と原因別比較 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22～24 平均</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人的ミス等</td> <td>0.3</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備不良等</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自然現象等</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 月/日 施設名 事故名称 原因分類 5/22 金ヶ崎ろ過施設 配水ポンプ 設備不良								供給支障事故			作業停止			件数（件）	時間（時間）	停止水量（千 m <sup>3</sup> ）	件数（件）	時間（時間）	停止水量（千 m <sup>3</sup> ）	1/4	1	2.43	1	2	9.57	3	2/4	0	0	0	0	0	0	3/4	0	0	0	0	0	0	4/4	0	0	0	0	0	0	合計	1	2.43	1	2	9.57	3	区分	H22～24 平均	H25	H26	H27	人的ミス等	0.3	0			設備不良等	0	1			自然現象等	0	0		
	供給支障事故			作業停止																																																																						
	件数（件）	時間（時間）	停止水量（千 m <sup>3</sup> ）	件数（件）	時間（時間）	停止水量（千 m <sup>3</sup> ）																																																																				
1/4	1	2.43	1	2	9.57	3																																																																				
2/4	0	0	0	0	0	0																																																																				
3/4	0	0	0	0	0	0																																																																				
4/4	0	0	0	0	0	0																																																																				
合計	1	2.43	1	2	9.57	3																																																																				
区分	H22～24 平均	H25	H26	H27																																																																						
人的ミス等	0.3	0																																																																								
設備不良等	0	1																																																																								
自然現象等	0	0																																																																								

※ 達成率<sup>\*1</sup>＝実績÷目標×100、達成率<sup>\*2</sup>＝（目標－実績）÷目標×100＋100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。（ ）は見込時の評価。

【様式 2】

平成 25 年度 工業用水道事業 経済性の確保 管理・評価集計表（実績）（5/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント																																																																																							
工業用水道事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、経営基盤の強化・自立経営を図る。	経常収支比率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>110 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>116 %</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>AA</td></tr> </table> 累積欠損金 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>50 百万円以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>解消</td></tr> </table>		目標	110 %	実績	116 %	達成度	AA	目標	50 百万円以下	実績	解消	1 新規ユーザーの給水開始があったものの、既存ユーザーの使用廃止等もあり、契約水量としては、日量で一般水が 3,600 m <sup>3</sup> 、ろ過水が 4,000 m <sup>3</sup> 減少した。 2 契約水量の減量に伴い収入は減少したが、費用を効率的に執行し、支出の縮減を図ったことから、経常収支比率が目標を大きく上回るとともに、累積欠損金が解消された。 3 未利用資産のうち、大堤公舎（旧職員公舎）跡地については、一般競争入札（新聞広告の活用）、先着順売払い（受付期間 5 か月）に付したが、売払いには至らなかった。 4 これまで北上市に委託していた業務委託については、北上市の水道事業が新たに設立する企業団に統合されることになったため、平成 26 年度以降の管理運営に関する協定書を新企業団と締結（3/20）するなど、円滑に業務を移行した。																																																																													
目標	110 %																																																																																									
実績	116 %																																																																																									
達成度	AA																																																																																									
目標	50 百万円以下																																																																																									
実績	解消																																																																																									
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等		区分評価	評価																																																																																				
(1) 収入の確保 【指標】収入額 <table border="1"> <tr><td>計画</td><td>951 百万円</td></tr> <tr><td>実績</td><td>909 百万円</td></tr> <tr><td>達成率*1</td><td>96%</td></tr> </table> ※計画は収支計画値	計画	951 百万円	実績	909 百万円	達成率*1	96%	⑤契約水量の増量	使用水量を把握し、適時適切にユーザーに増量を働きかける	1 企業誘致に関する情報収集活動 ⇒ 「企業ネットワーク 2013in 東京」出席（7/24）。既存ユーザーの使用廃止と新規ユーザーの給水開始を承認（9/2）。工業用水利用促進等関係機関連絡会議（1/20）。 2 既存ユーザーに関する情報収集活動 ⇒ 全 18 ユーザーのうち 13 ユーザーを訪問し、H24 決算説明と意見交換を実施（11/18, 20, 21, 12/12, 18）。恒常的に超過水を出しているユーザー 1 社の契約水量増量（2/1）。 3 新たな工場立地への対応 ⇒ 北上市からの情報をもとに、新規立地を計画する工場への給水を検討するも、条件が整わず見送った。		内部 A	a a																																																																														
	計画	951 百万円																																																																																								
実績	909 百万円																																																																																									
達成率*1	96%																																																																																									
⑥その他（未利用資産の処分等）	1 未利用資産の処分に係る情報収集 2 効果的な資産の運用	1 活用処分方針に基づく計画の実行 ⇒ 大堤公舎（旧職員公舎）跡地については、8 月 1 日より先着順による売払いを実施したが、買受申込はなかった。 スワップ処分 ⇒ 公用車 1 台の売却実施。 2 効果的な資産運用 ⇒ 随時現金収支見通しに基づき適切な資金運用を実施。年間利息収入額 1,228,182 円。		進行 A																																																																																						
(2) 支出の適正化 【指標】支出額 <table border="1"> <tr><td>計画</td><td>866 百万円</td></tr> <tr><td>実績</td><td>786 百万円</td></tr> <tr><td>達成率**2</td><td>110%</td></tr> </table> ※計画は収支計画値	計画	866 百万円	実績	786 百万円	達成率**2	110%	⑦経費の効率的な執行		1 消耗品費等の効率的な執行 ⇒ 事務費の実績額は、賃借料以外の科目で目標額を達成。 2 工事費の計画的な執行 ⇒ 改良費・修繕費は、目標額を達成。		進行 A	a a																																																																														
	計画	866 百万円																																																																																								
	実績	786 百万円																																																																																								
達成率**2	110%																																																																																									
⑧業務の効率化	1 工業用水道事業業務委託の仕様見直し	1 委託の活用・見直し ⇒ 岩手中部水道企業団（新企業団）設立（10/10）。北上市と運営に関する覚書を取交した（10/31）。新企業団と管理運営に関する協定書を締結（3/20）。 2 工事の計画的な施行の検討 ⇒ 第二工水 2 池機械設備更新工事は合冊発注し、契約（8/23）。空気圧縮機補修工事を含む 5 件について合冊発注し契約（9/12）。		進行 A																																																																																						
⑨その他	補償金免除繰上げ償還制度対象要件の緩和要望	1 借換制度の拡大の国への要望継続 ⇒ 特定被災地方公共団体補償金免除繰上償還および借換債については 9 月 20 日に対応完了。（11,619 千円利息軽減）		進行 A																																																																																						
(3) 自立経営への取組み	⑩入畑ダム水源転用	入畑ダム堰堤改良工事にかかる財産譲渡に向けた準備を行う	1 入畑ダム堰堤改良事業に係る協議 ⇒ 東北経済産業局との協議により、平成 26 年度中に国庫補助金を返還することとなった。		進行 A	a a																																																																																				
【備考】 四半期毎の状況（上段：目標、下段：実績） <table border="1"> <tr><th colspan="5">収入（百万円）</th></tr> <tr><th></th><th>1/4</th><th>2/4</th><th>3/4</th><th>4/4</th></tr> <tr><td>目標</td><td>238</td><td>476</td><td>713</td><td>951</td></tr> <tr><td>実績</td><td>240</td><td>475</td><td>695</td><td>909</td></tr> </table> ※目標は年間の収入見込みを日数割りしたもの			収入（百万円）						1/4	2/4	3/4	4/4	目標	238	476	713	951	実績	240	475	695	909	消耗品費等の抑制（千円） <table border="1"> <tr><th></th><th>1/4</th><th>2/4</th><th>3/4</th><th>4/4</th></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>1,143</td><td>2,286</td><td>3,429</td><td>4,572</td></tr> <tr><td></td><td>377</td><td>993</td><td>1,857</td><td>3,348</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>74</td><td>148</td><td>222</td><td>297</td></tr> <tr><td></td><td>59</td><td>136</td><td>212</td><td>314</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>597</td><td>1,194</td><td>1,791</td><td>2,389</td></tr> <tr><td></td><td>227</td><td>899</td><td>1,347</td><td>2,194</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>1,015</td><td>2,030</td><td>3,045</td><td>4,060</td></tr> <tr><td></td><td>261</td><td>604</td><td>1,303</td><td>2,193</td></tr> <tr><td>雑費</td><td>416</td><td>832</td><td>1,248</td><td>1,664</td></tr> <tr><td></td><td>169</td><td>301</td><td>723</td><td>841</td></tr> </table>			1/4	2/4	3/4	4/4	消耗品費	1,143	2,286	3,429	4,572		377	993	1,857	3,348	賃借料	74	148	222	297		59	136	212	314	通信運搬費	597	1,194	1,791	2,389		227	899	1,347	2,194	旅費	1,015	2,030	3,045	4,060		261	604	1,303	2,193	雑費	416	832	1,248	1,664		169	301	723	841	■ 工事費の状況（上段：目標、下段：実績） 工事費（千円） <table border="1"> <tr><th></th><th>修繕費</th><th>改良費</th></tr> <tr><td>目標</td><td>86,356</td><td>531,094</td></tr> <tr><td>実績</td><td>73,494</td><td>452,598</td></tr> </table> ■ 累積欠損金実績について 平成 25 年度 収入：909 百万円、支出：786 百万円 平成 25 年度収支：909 百万円 - 786 百万円 = 123 百万円（純利益） 平成 24 年度累積欠損金：118 百万円（H24 資本剰余金処分後） 平成 25 年度累積欠損金：118 百万円 - 123 百万円 = △5 百万円（H25 資本剰余金処分前） ※累積欠損金の解消達成			修繕費	改良費	目標	86,356	531,094	実績	73,494	452,598
収入（百万円）																																																																																										
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																																																						
目標	238	476	713	951																																																																																						
実績	240	475	695	909																																																																																						
	1/4	2/4	3/4	4/4																																																																																						
消耗品費	1,143	2,286	3,429	4,572																																																																																						
	377	993	1,857	3,348																																																																																						
賃借料	74	148	222	297																																																																																						
	59	136	212	314																																																																																						
通信運搬費	597	1,194	1,791	2,389																																																																																						
	227	899	1,347	2,194																																																																																						
旅費	1,015	2,030	3,045	4,060																																																																																						
	261	604	1,303	2,193																																																																																						
雑費	416	832	1,248	1,664																																																																																						
	169	301	723	841																																																																																						
	修繕費	改良費																																																																																								
目標	86,356	531,094																																																																																								
実績	73,494	452,598																																																																																								

※ 達成率\*1 = 実績 ÷ 目標 × 100、達成率\*\*2 = (目標 - 実績) ÷ 目標 × 100 + 100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。（ ）は見込時の評価。

【様式 2】

平成 25 年度 地域貢献の推進 管理・評価集計表（実績）（6/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント						
地域貢献の推進 地域における新エネルギーの導入促進や環境保全活動との協働等を通じて、地域社会への貢献に努める。	支援対象者等による評価 80% 以上 年 1% ずつの温室効果が排出量の削減 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>2,282t 以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,894t</td> </tr> </table>		目標	2,282t 以下	実績	1,894t	1 クリーンエネルギー導入支援事業について、震災仮設住宅周辺に 46 灯の LED 街灯を設置するなど、5 件（3 市、2 団体）に対し、9,747 千円の支援を実施。 2 温暖化対策等への取組みについては、各事業所で様々な取組みを実施した結果、温室効果ガスの排出量は 1,894t-CO2 となり、目標値の 2,282 t と比べて 388 t 下回った。 3 情報公開・PR については、施設見学会を 7 月 27 日に開催し、県民 130 名が参加した（平成 24 年度 153 名参加）。次年度は新規発電所の運転開始もあることから、コース設定等の検討を実施して開催する。また発電所等見学については、学生や一般県民などに働きかけを実施することにより、1,545 名（昨年度比 192 名増）を受け入れており、今後も積極的に見学者を受け入れていくこととする。		
目標	2,282t 以下								
実績	1,894t								
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等		区分評価	評価			
(1) クリーンエネルギー導入促進等	① クリーンエネルギーの導入支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、導入事例集の作成	1 クリーンエネルギーの導入支援（支援事業、技術支援）⇒震災仮設住宅周辺に 46 灯の LED 街灯を設置するなど、5 件（3 市、2 団体）に対し、9,747 千円の支援を実施。 2 一般会計への繰出しによるクリーンエネルギーの導入事業への支援⇒「低炭素」関連産業の創出に資する研究開発への支援など 6 事業に対して、15,432 千円の繰出しを実施した。		外部 A	a a			
	② 関係機関との連携	イベント等の情報収集を行い、普及啓発活動を実施	1 普及啓発活動の推進（他部局との連携、主催イベント等への参画）⇒和賀川清掃活動(7/10)。盛岡駅前復興応援ご当地キャラ祭(7/28, 10/5, 6)。盛岡さんさおどり(8/1)。		進行 A				
(2) 環境保全活動等への取組み	③ 植樹活動支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、職員参加数 95 名程度	1 植樹・育樹用苗木等提供及び植樹・育樹活動への参加 ⇒ 支援地区決定 16 地区。15 地区について実施済み（事業者の都合により 1 地点の中止あり）。延べ 9 地区 99 名の職員参加。 2 その他の地域貢献活動への取組み ⇒ 四十四田さくらまつり(5/3)。わかやままつり(5/12) 和賀川清掃活動(7/10)。盛岡駅前復興応援ご当地キャラ祭(7/28, 10/5, 6)。盛岡さんさおどり(8/1)。		内部 A	a a			
	④ 環境保全（地球温暖化対策）への取組み等	1 リーフット時点修正及びのイベント等での活用 2 温室効果が年 1% 削減	1 リーフット時点修正及びのイベント等での活用 ⇒ 各種イベント時に配布 2 温室効果削減啓発活動 ⇒ 各事業所における取組内容…省エネ対応 PC への更新、屋外照明等の一部消灯、修理工事入口廊下の消灯、事務室の一部消灯、本局において環境研修会を実施、県南施設管理所屋上に太陽光パネルを設置及び照明器具を LED 照明へ更新するなど、今年度の温室効果が排出量は 1,894t-CO2（昨年度実績 2,328t-CO2）となり、昨年度比 18.6% の削減を達成した。		外部 A				
(3) 情報公開・PR	⑤ ホームページの充実	速やかな情報掲載、内容の充実 外部アクセス数 21,886 件/年（H24 実績）	1 掲載情報の随時更新 ⇒ 更新回数 138 回（平成 25 年度実績） トップページ 20,217(21,886) 件、キッズページ 7,260(10,611) 件 2 掲載内容の充実 ⇒ ホームページ管理運用要領の一部を改正し、各事業所の権限において、既設コンテンツの更新・公開ができるよう環境を整備した。県公式ホームページのリニューアルに伴う移行作業実施。		内部 A	a a			
	⑥ 県民とのコミュニケーション活動	1 参加者理解度 80% 以上 3 共同事業者における企業局施設及び運用等の理解を促す。	1 施設見学会及びエネルギー教室の開催 ⇒ 130 名の参加で実施。当初予定どおり 5 コースでの開催。 2 随時や他部局等イベントにあわせた見学者の受入れ ⇒ 見学者の合計が 1,545 人と昨年度を 192 人上回り、また、見学者アンケートの結果も高評価であった。（平成 24 年度実績 1,353 名） 3 共同事業者（農業）への施設案内等 ⇒ 土地改良区職員を対象として実施（3/14 胆沢平野土地改良区）		外部 A				

【備考】

■ 支援対象者等による評価

調査実施事業	支援対象者評価 (回答数)	施設利用者等評価 (回答数)	平均	評価
①-1 クリーンエネルギー導入支援事業等	100% (9 団体)	94.8% (96 名)	97.4%	A A
③ 植樹活動支援事業	100% (15 団体)	—	100%	
⑥ 施設見学会	97.4% (114 名)	—	97.4%	

※ 支援対象者評価は満足度、施設利用者等評価は有益度を調査  
 ※ 評価に応じて加重平均したもの  
 ※ ( ) 内は有効回答数

■ 見学受入れにおける発電所見学者数（人）

H19～22 平均	H23	H24	H25
1,400	1,149	1,353	1,545

※ 達成率\*1=実績÷目標×100、達成率\*2=(目標-実績)÷目標×100+100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。( ) は見込時の評価。

【様式 2】

## 平成 25 年度 組織力の向上 管理・評価集計表（実績）（7/7）

経営方針	経営目標		分析及びコメント		
組織力の向上 事業運営の基盤となる組織力を更に向上させるため、技術の継承と人材の育成・確保に努める。					
取組分野	取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価
(1) 労働安全対策の充実	①安全保安会議等の実施	2 安全パトロール指摘事項箇所ゼロ 3 労働災害無事故 1 年	1 安全保安会議の実施 ⇒安全保安会議(5/29, 9/19, 3/10) 2 安全パトロールの実施 ⇒ 夏季安全パトロール実施(7月中 10 日間)。冬季安全パトロール実施予定(2/4, 5) 3 労働災害無事故への取組み ⇒安全保安実施期間(7月)において、安全ポスター及び安全ローグの掲示、安全保安講習等を実施し、積極的に取組み。5 月以降労働災害無事故を継続。県南施設管理所が 1 月 27 日で労働災害無事故 2 年達成した。	進行 A	a a
(2) 組織力の向上	②新会計基準への対応	1 新会計基準の適切な運用	1 会計規程の改正 ⇒ 新会計基準への対応のため、会計規程の改正を実施した。 2 会計システムの改修 ⇒新会計基準への対応のため、会計システム改修を実施した。	進行 A	a a
(3) 組織運営の充実	③組織機能の強化	優秀な技術職の確保、職員の能力が十分に発揮されるような職場環境の整備、ダム水路主任技術者等の養成・確保	1 局内連携の一層の推進 ⇒ 本局主任主査会議実施(10/8, 11/11, 12/10, 3/12)。総務担当者会議実施(8/27, 12/10)。 2 事業継続に必要な組織体制の構築 ⇒ 採用内定者がイダグス実施(11/15)。オープンセミナー(職員採用説明会)において、企業局事業の紹介等を実施した(12/26)。	進行 A	a a
	④経営品質向上(セルフアセスメント等)	1 セルフアセッサ(経営品質向上推進員を支援する職員)養成(1 名を計画) 2 職員満足度の向上	1 セルフアセスメント(自分たちの活動の自己評価)の実施等 ⇒ 平成 25 年度業務についてセルフアセスメントを実施し、その結果を反映した平成 26 年度業務方針(案)を策定した。 2 職員満足度の向上 ⇒ 調査結果を分析し、傾向と対応策を公表(11/28)。執務環境の改善に向け、事務機の更新等取組みを推進した。(総管・県南の事務機の更新、加賀野公舎エアコン設置等)	進行 A	
(4) 人材育成の充実	⑤技術継承・人材育成	1 専門研修実施計画の策定、実施、効果確認、見直し 2 各所属で実施する職場研修への全員参加、経歴格に沿った職場外研修の実施	1 専門研修体系の継続的な見直し ⇒ 専門研修体系検討委員会開催(5/29)。実施計画に基づき随時研修手続きを進めた。 2 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施(OJTの充実等) ⇒ 今年度の職場外研修受講者数は 166 名(カリキュラム外研修除く)で、年度当初の受講計画 173 名に対しては 95.9%の受講率となっており、概ね順調に人材育成に取り組んだ。また、研修実施要領等を改正し、新たに視察研修や第三種電気主任技術者試験準備講習等を追加した。	内部 A	a a
【備考】					

※ 達成率<sup>\*1</sup>=実績÷目標×100、達成率<sup>\*2</sup>= (目標-実績) ÷ 目標×100+100

※ 評価欄の「A」は良好、「B」は概ね良好、「C」はやや改善すべき点が見られる、「D」は改善すべき点が見られる。( ) は見込時の評価。



平成26年度 中期経営計画(経営評価)の進行管理・評価スケジュール(案)

	H26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27年1月	2月	3月	備考
経営評価委員会			第1回 ・ H25年度評価確定 ・ H26年度取組内容、 評価区分確定		第1四半期取組状況等 経過報告(資料配布のみ)			第2回 第2四半期取組状況 等経過報告			第3回 ・ 内部評価結果、 実施状況等報告 ・ H26年度評価(暫定)		
中期経営計画推進委員会	第1回 H26スケジュール、 取組内容、 評価区分等 審議	第2回 H25内部評価確定 H26取組状況確認等		第3回 第1四半期 取組状況確認等			第4回 第2四半期 取組状況確認等			第5回 第3四半期取組状況、 年度末見込みの確認 及び内部評価等		(第6回)	※必要に応じて、幹事を開催  ※必要に応じて、第6回推進委を開催
担当部署&事務局	取纏め H26年度取組内容検討 (管理・評価シート等作成)  H25年度末実績自己評価 ※第4次中期経営計画の実績を踏まえた評価であること	取纏め 現時点での進捗状況報告	第1回評価委員会結果及びH25 評価結果の公表資料作成	取纏め 第1四半期進捗状況報告等			取纏め 第3四半期進捗状況報告等	第2回評価委員会 結果公表資料作成	取纏め、内部評価案作成		第3回評価委員会 結果公表資料作成		
報告・外部公表		H26第1回評価委開催結果 H25年度評価結果						H26第2回評価委開催結果			H26第3回評価委開催結果		
参考	県議会 (例年の時期)			(6/下) ← (7/上)	閉会中の常任委員会		(9/下) ← (10/下)		(11/下~12/中)			(2/下) ← (3/下)	



I 電気事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価 (分析とコメント)																										
信頼性の確保	<< 経営目標 >> ◆ 供給電力量 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>499,099 MWh</td> </tr> <tr> <td>実績見込</td> <td>MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table> (第 四半期まで) <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>MWh</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>MWh</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標	499,099 MWh	実績見込	MWh	達成率	%	目標	MWh	実績	MWh	達成率	%	【分析・評価】														
	目標	499,099 MWh																										
実績見込	MWh																											
達成率	%																											
目標	MWh																											
実績	MWh																											
達成率	%																											
<< 行動計画 >> ◇ 安定供給に向けた取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	評価																											
評価																												
経済性の確保	<< 経営目標 >> ◆ 経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> << 行動計画 >> ◇ 収入の確保 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table> ◇ 支出の適正化 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	目標	107 %	実績	%	達成度		評価		評価		参考指標 水力発電所の供給停止 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22~24の3カ年平均</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>件数 (件)</td> <td>3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>時間 (時間)</td> <td>106</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電力量 (kWh)</td> <td>140,089</td> <td></td> </tr> </table> 風力発電所の利用可能率 <table border="1"> <tr> <td>H22~24の3カ年平均</td> <td>88 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>%</td> </tr> </table>		H22~24の3カ年平均	実績	件数 (件)	3.7		時間 (時間)	106		電力量 (kWh)	140,089		H22~24の3カ年平均	88 %	実績	%
	目標	107 %																										
実績	%																											
達成度																												
評価																												
評価																												
	H22~24の3カ年平均	実績																										
件数 (件)	3.7																											
時間 (時間)	106																											
電力量 (kWh)	140,089																											
H22~24の3カ年平均	88 %																											
実績	%																											
新規開発の推進	<< 経営目標 >> ◆ 胆沢第三発電所建設の推進 平成 26 年 7 月 運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> ◆ 水力開発候補地点の選定・可能性検討 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> ◆ 高森高原風力発電所(仮称) 開発の推進 平成 29 年 運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> ◆ 北上大規模太陽光発電所(仮称) の建設の推進 平成 26 年 11 月 運転開始 <table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table> << 行動計画 >> ◇ 新規水力開発への取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table> ◇ 再生可能エネルギー導入への取組み <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table>	達成度		達成度		達成度		達成度		評価		評価		【分析・評価】	参考：収入・支出の実績(百万円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>収入額</td> <td>支出額</td> <td>経常利益</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>4,459</td> <td>4,182</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>実績見込</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		収入額	支出額	経常利益	計画	4,459	4,182	277	実績見込				
	達成度																											
達成度																												
達成度																												
達成度																												
評価																												
評価																												
	収入額	支出額	経常利益																									
計画	4,459	4,182	277																									
実績見込																												

II 工業用水道事業

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価(分析とコメント)																													
信頼性の確保	<経営目標> ◆基本料金算定水量(契約水量) <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>14,012千m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>実績</td><td>千m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> (第 四半期まで) <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>千m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>実績</td><td>千m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> ◆配管耐震化率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>51%</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> </table>	目標	14,012千m <sup>3</sup>	実績	千m <sup>3</sup>	達成率	%	目標	千m <sup>3</sup>	実績	千m <sup>3</sup>	達成率	%	目標	51%	実績	%	【分析・評価】  供給支障事故の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>時間(時間)</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>供給支障(千m<sup>3</sup>)</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			目標	実績	件数(件)	0		時間(時間)	0		供給支障(千m <sup>3</sup> )	0	
	目標	14,012千m <sup>3</sup>																													
実績	千m <sup>3</sup>																														
達成率	%																														
目標	千m <sup>3</sup>																														
実績	千m <sup>3</sup>																														
達成率	%																														
目標	51%																														
実績	%																														
	目標	実績																													
件数(件)	0																														
時間(時間)	0																														
供給支障(千m <sup>3</sup> )	0																														
	<行動計画> ◇安定供給に向けた取組み <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	評価		参考指標																											
評価																															
経済性の確保	<経営目標> ◆経常収支比率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>101%</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標	101%	実績	%	達成度		【分析・評価】  参考：収入・支出の実績(百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>経常利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>890</td> <td>878</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			収入額	支出額	経常利益	計画	890	878	12	実績													
	目標	101%																													
実績	%																														
達成度																															
	収入額	支出額	経常利益																												
計画	890	878	12																												
実績																															
	<行動計画> ◇収入の確保 <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> ◇支出の適正化 <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> ◇自立経営への取組み <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	評価		評価		評価																									
評価																															
評価																															
評価																															

III 地域貢献

経営目標と実績、行動計画評価		経営評価(分析とコメント)													
地域貢献の推進	<経営目標> ◆支援対象者等による評価 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>80%</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table> ◆温室効果ガス排出量の削減 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>2,259t以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標	80%	実績	%	達成度		目標	2,259t以下	実績		達成度		【分析・評価】	
	目標	80%													
実績	%														
達成度															
目標	2,259t以下														
実績															
達成度															
	<行動計画> ◇クリーンエネルギー導入促進等 <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> ◇環境保全活動等への取組み <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table> ◇情報公開・PR <table border="1"> <tr><td>評価</td><td></td></tr> </table>	評価		評価		評価									
評価															
評価															
評価															

平成 26 年度 電気事業 信頼性の確保 管理・評価集計表 (1/7) (案)

経営方針	経営目標	取組分野																												
I 電気事業 1 信頼性の確保 施設の適切な維持管理のもと、水力発電を中心としたクリーンな電力の安定供給に努める。	供給電力量 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>499,099 MWh</td></tr> <tr><td>実績</td><td>MWh</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table> 供給電力量 (第 四半期まで) <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>MWh</td></tr> <tr><td>実績</td><td>MWh</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>%</td></tr> </table>	目標	499,099 MWh	実績	MWh	達成率	%	目標	MWh	実績	MWh	達成率	%	(1) 安定供給に向けた取組 【参考指標】 供給支障件数 <table border="1"> <tr><td>H22~24の3カ年平均</td><td>3.7 件/年以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>件</td></tr> </table> 【参考指標】 停電時間 <table border="1"> <tr><td>H22~24の3カ年平均</td><td>106 時間/年以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>時間</td></tr> </table> 【参考指標】 停電電力量 <table border="1"> <tr><td>H22~24の3カ年平均</td><td>140MWh/年以下</td></tr> <tr><td>実績</td><td>MWh</td></tr> </table> 【参考指標】 風力発電所の利用可能率 <table border="1"> <tr><td>H22~24の3カ年平均</td><td>88%</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> </table>	H22~24の3カ年平均	3.7 件/年以下	実績	件	H22~24の3カ年平均	106 時間/年以下	実績	時間	H22~24の3カ年平均	140MWh/年以下	実績	MWh	H22~24の3カ年平均	88%	実績	%
目標	499,099 MWh																													
実績	MWh																													
達成率	%																													
目標	MWh																													
実績	MWh																													
達成率	%																													
H22~24の3カ年平均	3.7 件/年以下																													
実績	件																													
H22~24の3カ年平均	106 時間/年以下																													
実績	時間																													
H22~24の3カ年平均	140MWh/年以下																													
実績	MWh																													
H22~24の3カ年平均	88%																													
実績	%																													

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価	
(1) 安定供給に向けた取組み	①安全で適切な作業等の実施	失敗事例、事故事例の情報収集・共有化 (随時) 1 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施 (OJT (職場内教育) の充実等) 2 作業の準備、反省及び改善等 3 事故事例等の共有・活用			
	② 計画的な更新、改良、修繕工事等の実施	工程管理	1 年間工事打合せ ① 仙人発電所 入口弁及び调速機等更新 ② 四十四田発電所 オーバーホール他改良、主要変圧器更新、(オーバーホール H25~H26、主変 H25~H26) ③ 御所発電所 配電盤更新等・オーバーホール (H24~26) ④ 柏台発電所 水車発電機分解点検補修等 (H26~27) ⑤ 施設総合管理所 集中監視制御システム更新 (H24-26)		
		修繕・改良計画の策定及び検証	2 10 年計画の見直し		
		共同事業者との連携	3 国営事業 (岩手山麓) との連携事業推進		
		土木施設の長寿命化	4 御所発電所等施設台帳・データベース整備 維持管理計画の見直し等		
	その他	自然災害等への対応			
③ 保守要則の見直し	保守要則	新規発電所運転開始等に伴う追加検討及び改正			
	保安規程	新規発電所運転開始等に伴う改正			

【備考】

■ 四半期毎の状況

供給電力量 (MWh)

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
目標					
実績見込					

供給支障状況

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
供給支障件数					
停電時間 (H)					
停電電力量 (MWh)					

供給支障件数の過去平均と原因別比較

区分	H22~24 平均	H25	H26	H27
人的ミス等	0.3	1		
設備不良等	2.0	2		
自然現象等	1.3	0		

供給支障発生日 施設名 事故名称 原因分類

平成 26 年度 電気事業 経済性の確保 管理・評価集計表 (2/7) (案)

経営方針		経営目標		取組分野																																						
I 電気事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、安定経営の維持を図る。		経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>107 %</td> </tr> <tr> <td>実績見込</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>		目標	107 %	実績見込	%	達成度		(1) 収入の確保 【参考指標】収入額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>4,459 百万円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table> (2) 支出の適正化 【参考指標】支出額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>4,182 百万円以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> </tr> </table>			計画	4,459 百万円	実績	万円	達成率	%	計画	4,182 百万円以下	実績	万円	達成率	%																		
目標	107 %																																									
実績見込	%																																									
達成度																																										
計画	4,459 百万円																																									
実績	万円																																									
達成率	%																																									
計画	4,182 百万円以下																																									
実績	万円																																									
達成率	%																																									
取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等			区分評価	評価																																				
(1) 収入の確保	④適正料金の確保	1 料金改定協議(事業報酬額、退職給与引当金、修繕、改良、委託費) 2 胆沢第三発電所に係る電力受給契約の締結 3 北上大規模太陽光(仮称)に係る電力受給契約の締結 4 電力システム改革に関する情報収集、調査研究	1 東北ブロック協議担当県として料金改定のスケジュールを勘案して、東北電力(株)との交渉を設定 2 東北電力(株)との協議 3 一般競争入札による固定価格買取制度における特定契約相手先の決定 4 情報収集及び調査研究(基本契約・受給契約関係、契約手続き関係、事業影響関係等)																																							
	⑤施設運用と機器の効率化	1 合理的な年間作業停止計画等の策定 2 機器更新に伴う高効率機器の導入検討 3 高効率機器等への更新	1 年間作業停止計画の策定 2 高効率機器の導入検討																																							
	⑥その他	1 未利用資産の活用・処分等 2 効率的な資金運用	1 活用処分方針に基づく計画の実行 スクラップ処分 2 適切な現金収支見直し 大口定期預金																																							
(2) 支出の適正化	⑦経費の効率的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 2 工事費等の計画的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 2 工事費等の計画的な執行																																							
	⑧業務の効率化	1 工事の計画的な施行の検討 2 土木施設の長寿命化【再掲】	1 工事の計画的な施行の検討 2 御所発電所等施設台帳・データベース整備 維持管理計画の見直し等																																							
<b>【備考】</b> ■ 四半期毎の状況(上段:目標、下段:実績) 電力料(百万円)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1/4</th> <th>2/4</th> <th>3/4</th> <th>4/4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卸供給</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>附帯事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								1/4	2/4	3/4	4/4	計	卸供給						附帯事業						計																	
	1/4	2/4	3/4	4/4	計																																					
卸供給																																										
附帯事業																																										
計																																										
達成率 ■ 工事費、委託費の状況(上段:目標、下段:実績) 工事費、委託費実績見込(千円)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>修繕費</th> <th>改良費</th> <th>委託費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								修繕費	改良費	委託費	目標				実績																											
	修繕費	改良費	委託費																																							
目標																																										
実績																																										
消耗品費等(千円)(実績)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1/4</th> <th>2/4</th> <th>3/4</th> <th>4/4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								1/4	2/4	3/4	4/4	計	消耗品費						賃借料						通信運搬費						旅費						雑費					
	1/4	2/4	3/4	4/4	計																																					
消耗品費																																										
賃借料																																										
通信運搬費																																										
旅費																																										
雑費																																										

平成 26 年度 電気事業 新規開発の推進 管理・評価集計表 (3/7) (案)

経営方針		経営目標		取組分野			
I 電気事業 3 新規開発の推進 地域エネルギーの活用や地球環境保全に貢献するため、再生可能エネルギーの導入を推進する。		胆沢第三発電所の建設の推進 水力開発候補地点の選定・可能性検討 高森高原風力発電所（仮称）開発の推進 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進		(1) 新規水力開発 (2) 再生可能エネルギー導入促進等			
取組項目		取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等			区分 評価	評価
(1) 新規水力開発	⑨ 胆沢第三発電所の建設の推進	1 胆沢第三発電所の建設の推進 2 電力受給契約の締結	①胆沢ダム・発電所工事連絡調整会議等への出席 ②共同工事の進捗 ③専有設備工事の進捗 ④運転開始後の発電所の運用や保守管理に向けた関係機関との協議及び円滑な運用 ⑤東北電力(株)との協議				
	⑩ 水力開発地点の調査	1 開発に向けた情報収集及び調査。	① 流況把握 ② 築川地点（開発可能性の調査） ③ 有望地点可能性調査				
(2) 再生可能エネルギー導入促進等	⑪ 高森高原風力発電所（仮称）の開発の推進	1 環境影響調査 2 風況観測調査 3 発電所設計 4 用地交渉等	①猛禽類等調査 ②環境影響評価（①除く） ③準備書作成、国等への提出、住民説明会対応等 ④風況観測調査業務 ⑤風力発電システム詳細設計業務 ⑥送電線実施設計業務 ⑦用地交渉等				
	⑫ 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進	1 北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進	① 補助金関係 ② 工事関係 ③ 系統連系関係 ④ 固定価格買取制度による特定契約関係 ⑤ 設置条例関係 ⑥ その他				
	⑬ その他の再生可能エネルギーの調査研究	1 新たな事業展開に向けた情報収集	①情報収集の継続 ②各種会議等への参画				
【備考】							
		胆沢第三発電所	北上大規模太陽光発電所（仮称）	高森高原風力発電所（仮称）			
形式		ダム式	—	—			
最大出力		1,500kW	1,009kW	25,300kW			
所在地		奥州市	北上市	一戸町			
総事業費		約 22 億円	約 5.8 億円	約 115 億円			
工期		H23～H26	H25～H26	H27～H29			

平成 26 年度 工業用水道事業 信頼性の確保 管理・評価集計表 (4/7) (案)

経営方針	経営目標	取組分野																		
II 工業用水道事業 1 信頼性の確保 施設の適切な維持管理のもと、良質な工業用水の安定供給に努める。	基本料金算定水量 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>14,012 千 m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>実績</td><td>千 m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>達成率<sup>※1</sup></td><td>%</td></tr> </table> 耐震化率 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>51 %</td></tr> <tr><td>実績</td><td>%</td></tr> </table>	目標	14,012 千 m <sup>3</sup>	実績	千 m <sup>3</sup>	達成率 <sup>※1</sup>	%	目標	51 %	実績	%	(1) 安定供給に向けた取組 【指標】 供給停止件数 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>0 件</td></tr> <tr><td>実績</td><td>件</td></tr> </table> ※過去平均：H22～24 の 3 ヶ年平均 0.3 件/年 【指標】 供給停止時間 <table border="1"> <tr><td>目標</td><td>0 時間</td></tr> <tr><td>実績</td><td>時間</td></tr> </table> ※過去平均：H22～24 の 3 ヶ年平均 0.7 時間/年	目標	0 件	実績	件	目標	0 時間	実績	時間
目標	14,012 千 m <sup>3</sup>																			
実績	千 m <sup>3</sup>																			
達成率 <sup>※1</sup>	%																			
目標	51 %																			
実績	%																			
目標	0 件																			
実績	件																			
目標	0 時間																			
実績	時間																			

取組項目	取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価
(1) 安定供給に向けた取組み	① 安全で適切な作業等の実施	1 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施 2 作業の準備、作業及び改善等 3 事故事例等の活用 ① 職場研修の実施 (OJT の充実等) 【再掲】 ② 職場外研修の実施 ③ 作業前のウォークスミレーティング・危険予知の徹底 ④ 問題点の抽出及び改善の実施 ⑤ 事故事例の収集と活用		
	② 計画的な更新、改良、修繕工事等の実施	工程管理 ① 北上ろ過高圧受電盤等更新工事 (H25～H26) ② 金ヶ崎ろ過 (第一期) シェット盤等改修工事 ③ 第二工水沈砂池コンクリート躯体補修工事		
		修繕・改良計画の策定及び検証 10 年計画 10 ヶ年計画の見直し		
	③ 維持管理要領の随時見直し	配管更新 (耐震化) の推進と各施設更新・改良・修繕工事 (工程管理) ④ 第一工水 (北上工水) 配水管更新工事 ⑤ 第二工水送水管更新 (浄水場内可とう管) 工事 ⑥ 第二工水送水管更新 (JR 及び国道 4 号横断) の詳細設計		
		維持管理要領の随時見直し 1 設備変更等によるマニュアルの見直し		
④ 関係機関との連携	1 河川への油流出防止活動 ① 汚水配布等による広報・啓発活動 ② 水質汚濁対策連絡協議会による活動			
	2 ユーザー等への情報提供 ① 水質事故の情報提供 ② 放射線影響対策に係る定期的な測定とその公表 ③ 広報活動			

【備考】

■ 四半期毎の状況

基本料金算定水量 (千 m<sup>3</sup>)

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
目標					
実績					

実給水量 (千 m<sup>3</sup>)

	1/4	2/4	3/4	4/4	計
見込み					
実績					

※目標及び見込みは年間給水量見込みを日数割り

■ 供給支障件数の過去平均と原因別比較

区分	H22～24 平均	H25	H26	H27
人的ミス等	0.3	0		
設備不良等	0	1		
自然現象等	0	0		

月/日 施設名 事故名称 原因分類

■ 供給停止状況

	供給支障事故			作業停止		
	件数 (件)	時間 (h)	停止水量 (千 m <sup>3</sup> )	件数 (件)	時間 (h)	停止水量 (千 m <sup>3</sup> )
1/4						
2/4						
3/4						
4/4						
合計						

平成 26 年度 工業用水道事業 経済性の確保 管理・評価集計表 (5/7) (案)

経営方針		経営目標		取組分野																																									
II 工業用水道事業 2 経済性の確保 一層の経営効率化を進め、経営基盤の強化・自立経営を図る。		経常収支比率 <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>101 %</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>		目標	101 %	実績	%	達成度		(1) 収入の確保 【参考指標】収入額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td colspan="4">890 百万円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td colspan="4">%</td> </tr> </table>					計画	890 百万円				実績	万円				達成率	%																			
				目標	101 %																																								
実績	%																																												
達成度																																													
計画	890 百万円																																												
実績	万円																																												
達成率	%																																												
					(2) 支出の適正化 【参考指標】支出額 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td colspan="4">878 百万円以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">万円</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td colspan="4">%</td> </tr> </table>					計画	878 百万円以下				実績	万円				達成率	%																								
計画	878 百万円以下																																												
実績	万円																																												
達成率	%																																												
					(3) 自立経営への取組み																																								
取組項目		取組目標等		主な実施状況及び成果・効果等					区分評価	評価																																			
(1) 収入の確保	⑤ 契約水量の増量	1 企業誘致等に関する情報収集活動 2 既存ユーザーに関する情報収集活動 3 新たな工場立地への対応		① 関係機関との情報交換 ② ユーザーへの適時適切な増量の働きかけ ③ 新たな工場立地の動向に応じた協議																																									
	⑥ その他(未利用資産の処分等)	1 未利用資産の活用・処分等 2 効果的な資金運用		① 活用処分方針に基づく計画の実行 スラップ処分 ② 適切な現金収支見通し 大口定期預金																																									
(2) 支出の適正化	⑦ 経費の効率的な執行	1 消耗品費等の効率的な執行 2 工事費の計画的な執行																																											
	⑧ 業務の効率化	1 委託の活用・見直し 2 工事の計画的な実行の検討		① 工業用水道事業業務委託の共有財産の整理 ② 工事施行の見直し等																																									
	⑨ その他	借換制度の拡大の国への要望継続		全国公営企業連絡会等を通じた国への要望																																									
(3) 自立経営への取組み	⑩ 入畑ダム水源転用	1 手続き等の進行管理 2 国庫補助金返還の手続き		① 財産譲渡・入畑ダム堰堤改良工事対応 ② 入畑ダム堰堤改良事業に係る既設財産の処分																																									
<b>【備考】</b> ■ 四半期毎の状況 (上段：目標、下段：実績) 収入 (百万円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1/4</td> <td>2/4</td> <td>3/4</td> <td>4/4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 目標は年間の収入見込みを日数割りしたもの ■ 工事費の状況 (上段：目標、下段：実績) 工事費 (千円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>修繕費</td> <td>改良費</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											1/4	2/4	3/4	4/4	計	目標						実績							修繕費	改良費	目標			実績											
	1/4	2/4	3/4	4/4	計																																								
目標																																													
実績																																													
	修繕費	改良費																																											
目標																																													
実績																																													
消耗品費等 (千円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1/4</td> <td>2/4</td> <td>3/4</td> <td>4/4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											1/4	2/4	3/4	4/4	計	消耗品費						賃借料						通信運搬費						旅費						雑費					
	1/4	2/4	3/4	4/4	計																																								
消耗品費																																													
賃借料																																													
通信運搬費																																													
旅費																																													
雑費																																													

平成 26 年度 地域貢献の推進 管理・評価集計表 (6/7) (案)

経営方針		経営目標		取組分野						
III 地域貢献の推進 地域における新エネルギーの導入促進や環境保全活動との協働等を通じて、地域社会への貢献に努める。		支援対象者等による評価 80% 以上 年 1% ずつの温室効果ガス排出量の削減 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>目標</td> <td>2,259t 以下</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>t</td> </tr> </table>		目標	2,259t 以下	実績	t	(1) クリーンエネルギー導入促進等 (2) 環境保全活動等への取組み (3) 情報公開・P R		
目標	2,259t 以下									
実績	t									
取組項目		取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等			区分評価	評価			
導 入 促 進 等 (1) クリーンエネルギー	① クリーンエネルギーの導入支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、導入事例集の作成	1 クリーンエネルギーの導入支援 (支援事業、技術支援) 2 一般会計への繰出しによるクリーンエネルギーの導入事業への支援							
	② 関係機関との連携	イベント等の情報収集を行い、普及啓発活動を実施	1 普及啓発活動の推進 (他部局との連携、主催イベント等への参画)							
組 み (2) 環境保全活動等への取	③ 植樹活動支援等	支援対象者等による評価 80% 以上、職員参加数 95 名程度	1 植樹・育樹用苗木等提供及び植樹・育樹活動への参加 2 その他の地域貢献活動への取組み							
	④ 環境保全 (地球温暖化対策) への取組み等	1 リーフレット時点修正及びイベント等での活用 2 温室効果ガス年 1% 削減	1 リーフレット時点修正及びイベント等での活用 2 温室効果ガス削減啓発活動							
(3) 情報公開・P R	⑤ ホームページの充実	速やかな情報掲載、内容の充実 外部アクセス数 20,217 件/年 (H25 実績)	1 掲載情報の随時更新 2 掲載内容の充実							
	⑥ 県民とのコミュニケーション活動	1 参加者理解度 80% 以上 2,3 共同事業者における企業局施設及び運用等の理解を促す。	1 施設見学会及びエネルギー教室の開催 2 随時や他部局等イベントにあわせた見学者の受入れ 3 共同事業者への施設案内等							

【備考】

■ 支援対象者等による評価

調査実施事業	支援対象者評価 (回答数)	施設利用者等評価 (回答数)	平均	評価
①-1 クリーンエネルギー導入支援事業等	% ( )	% ( )		
③ 植樹活動支援事業	% ( )	% ( )		
⑥ 施設見学会	% ( )	% ( )		

※数値は集計中の速報値  
 ※支援対象者評価は満足度、施設利用者等評価は有益度を調査  
 ※評価に応じて加重平均したもの  
 ※ ( ) 内は有効回答数

■ 見学受入れにおける発電所見学者数 (人)

H19~22 平均	H23	H24	H25
1,400	1,149	1,353	1,545

## 平成 26 年度 組織力の向上 管理・評価集計表 (7/7) (案)

経営方針		経営目標		取組分野	
IV組織力の向上 事業運営の基盤となる組織力を更に向上させるため、技術の継承と人材の育成・確保に努める。				(1) 労働安全対策の充実 (2) 組織力の向上 (3) 組織運営の充実 (4) 人材育成の充実	
取組項目		取組目標等	主な実施状況及び成果・効果等	区分評価	評価
(1) 労働安全対策の充実	① 安全保安会議等の実施	1 安全保安会議の実施 2 安全パトロールの実施 3 労働災害無事故への取組み	① 安全保安会議の開催 ②③夏季・冬季 安全パトロールの実施 ④ 労働災害無事故表彰の実施 ⑤労働災害ゼロへの取組み		
	② 新会計基準への対応	新会計基準への対応	1 移行貸借対照表の作成 2 平成 26 年度決算作成検討		
(3) 組織運営の充実	③ 組織機能の強化	1 局内連携の一層の推進 2 事業継続に必要な組織体制の構築	① 本局主任主査会議による情報共有 ② 総務担当者会議等による情報共有 ③ 事業運営に必要な職員の採用 ④ 定数・組織調整及び適正な人員配置 ⑤ 事業運営に必要な有資格者の確保		
	④ 経営品質向上 (セルフアセスメント等)	1 セルフアセスメント (自分たちの活動の自己評価) の実施等 2 職員満足度の向上	① セルフアセスメント (自分たちの活動の自己評価) ② 満足度調査結果等を基に事業実施		
(4) 人材育成の充実	⑤ 技術継承・人材育成	1 専門研修体系の継続的な見直し 2 専門研修体系に基づく計画的な研修の実施	① 専門研修体系実施要領及びカリキュラムの継続的な見直し実施 ② 職場研修の実施 ③ 職場外研修の実施		
【備考】					



## 平成 26 年度 経営目標の評価基準について

## ■ 経営目標の評価基準について

## I 電気事業

## 1 信頼性の確保

信頼性の確保に関する経営評価は、原則として次の①②を総合して評価を行う。

- ①「供給電力量」の達成率及び要因（出水率、事故停止、当初想定していなかった作業停止など）
- ②信頼性の確保に関する行動計画（取組み）のランク付け評価

・経営目標値として「供給電力量」を掲げているが、出水状況など自然要因に大きく左右されるものであり、その達成率をもってランク付け評価を行うことは適切ではないもの。  
 ・「供給電力量」の達成率の良否そのものにとられるのではなく、要因や参考指標、行動計画の評価結果を踏まえ、評価をするもの。

## 2 経済性の確保

経済性の確保に関する経営評価は、原則として次の①②を総合して評価を行う。

- ①「経常収支比率」の達成度（原則として表 1 によるランク付け評価）及び要因
- ②経済性の確保に関する行動計画（取組み）のランク付け評価

表 1 経常収支比率の評価基準

評価		AA	A	B	C	D
経常 収支 比率 (%)	H25 (目標：107%) (実績：111%)	112 以上	112 未満 ～107 以上	107 未満 ～102 以上	102 未満 ～100 以上	100 未満
	H26 (目標：107%)	112 以上	112 未満 ～107 以上	107 未満 ～102 以上	102 未満 ～100 以上	100 未満

・経営目標値として「経常収支比率」を掲げているが、出水状況など自然要因に左右される面があり、その達成度（ランク付け評価）をもって単純に経営評価とすることは適切ではないもの。  
 ・「経常収支比率」の達成度の良否そのものにとられるのではなく、要因や、行動計画の評価結果を踏まえ、評価をするもの。

## 3 新規開発の推進

原則として、取組項目「⑨胆沢第三発電所、⑩高森高原風力発電所（仮称）、⑫北上大規模太陽光発電所（仮称）の建設の推進」と「⑩水力開発地点の調査」で掲げている取組目標に対する進捗状況で評価する。

進捗状況の評価については、表 2 の評価基準により評価を行う。

表 2 新規開発の評価基準

評価	AA	A	B	C	D
取組目標の 達成度	目標より 進んだ	順調に進んだ	やや遅れ	遅れ	実施せず

## II 工業用水道事業

## 1 信頼性の確保

信頼性の確保に関する経営評価は、原則として次の①②③を総合して評価を行う。

- ①「基本料金算定水量」の達成率及び要因（事故停止、当初想定していなかった作業停止など）
- ②配管の耐震化率については、目標を達成したか、否か
- ③信頼性の確保に関する行動計画（取組み）のランク付け評価

・経営目標値として「基本料金算定水量」を掲げているが、これは景気の動向など社会経済要因に大きく左右されない指標であるが、事故停止や予防保全を目的とした工事による停止でも達成率が下がることから、達成率の良否そのものにとられるのではなく、要因や、行動計画の評価結果を踏まえ、評価をするもの。

## 2 経済性の確保

経済性の確保に関する経営評価は、原則として次の①②③を総合して評価を行う。

- ①「経常収支比率」の達成度（原則として表3によるランク付け評価）及び要因
- ②累積欠損金については、目標を達成したか、否か
- ③経済性の確保に関する行動計画（取組み）のランク付け評価

表3 経常収支比率の評価基準

評価		AA	A	B	C	D
経常収支比率 (%)	H25 (目標: 110%) (実績: 111%)	115 以上	115 未満 ~110 以上	110 未満 ~105 以上	105 未満 ~100 以上	100 未満
	H26 (目標: 101%)	106 以上	106 未満 ~101 以上	101 未満 ~100 以上	—	100 未満

- ・経営目標値として「経常収支比率」を掲げているが、景気の動向など社会経済要因に左右される面があり、その達成度（ランク付け評価）をもって単純に経営評価とすることは適切ではないもの。
- ・「経常収支比率」の達成度の良否そのものにとらわれるのではなく、要因や、行動計画の評価結果を踏まえ、評価をするもの。
- ・平成26年度については、目標値が101%と評価Dの基準である100%と非常に接近しているため、評価Cを除く4段階の評価とした。

## III 地域貢献

### 1 クリーンエネルギー導入事業等について

クリーンエネルギー導入支援事業等に関する経営評価は、支援対象者等を実施したアンケート調査（満足度）の結果を抽出し、表4の基準により評価する。

表4 支援対象者等による評価の評価基準

評価	AA	A	B	C	D
評価 (%)	90 以上	90 未満 ~80 以上	80 未満 ~70 以上	70 未満 ~60 以上	60 未満

- ・「クリーンエネルギー導入支援事業」「植樹活動支援事業」「施設見学会」において、支援対象事業者、支援対象施設の利用者、見学参加者を対象として、事業に対する満足度のほか、企業局の地域貢献事業の有益度を問うアンケートを実施するもの。

### 2 温室効果ガス排出量削減について

年間1%の温室効果ガス排出削減の目標を達成した場合は“達成”、できなかった場合は“未達”として評価する。なお、具体的な取組み状況（設備の運転状況や改修工事等の取組状況等）を分析したコメントを加え、評価を補足する。

## ■ 行動計画（取組分野）の評価基準について

原則として、取組項目毎に、「A」は5、「B」は3、「C」は1、「D」は0に数値化し、平均値が4.5以上は「aa」、4以上は「a」、3以上は「b」、2以上は「c」、2未満は「d」と評価する。

評価	取組項目の評価の組合せの例			
	1項目のみ	2項目の組合せ	3項目の組合せ	4項目の組合せ
aa	A	AA	AAA	AAAA、AAAB
a	—	AB	AAB	AAAC、AABB
b	B	AC、BB	AAC、AAD、ABB、ABC、BBB	AAAD、AABC、AABD、AACC、ABBB、ABBC、BBBB
c	—	AD、BC	BBC、BBD	AACD、AADD、ABBD、ABCC、ABCD、ABDD、ACCC、BBBC、BBBD、BBCC
d	C、D	BD、CC、CD、DD	CCC、CCD、DDD	ACCD、ACDD、ADDD、BBBD、BBDD、BCCD、BCCD、BCCD、BDDD、CCCC、CCCD、CCDD、CDDD、DDDD
備考	年度途中における進行管理を主としたチェックはaa, a=◎、b=○、c=△、d=×と読み替える。			

- ◎ **供給電力量は**、出水率が前年度を大幅に上回ったこと、及び風力発電においては、風速の大きい冬期間に故障停止が少なく順調に稼働したことから、**127,524千kWh (25.4%) 増え、629,896千kWh**となりました。
- ◎ **経常収益は**、供給電力量が増えたことに伴い、電力料収入が増加したことなどから、**1億99百万円余 (4.8%) 増え、43億34百万円余**となりました。
- ◎ **経常費用は**、減価償却費や固定資産除却費が減った一方、**修繕費や委託費が増えたこと**などにより、**2億百万円余 (5.5%) 増え、38億55百万円余**となりました。
- ◎ また、有根沢地点開発中止に伴う建設準備勘定の償却により**特別損失を1億6百万円余計上**しました。
- ◎ この結果、**経常利益は前年度を百万円余 (△0.3%) 下回る、4億78百万円余**となり、**純利益は**、特別損失を計上したことにより、前年度を**1億7百万円余 (△22.4%) 下回る、3億72百万円余**となりました。
- ◎ **経営目標と比較**すると、経常利益は2億75百万円の目標に対して、**2億3百万円余上回り**しました。また、**経常収支比率は107.0%の目標より5.4ポイント上回り、112.4%と目標を達成**しました。

平成25年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		4,334,338	4,134,613	199,725	4.8%
経常費用		3,855,757	3,654,641	201,116	5.5%
経常利益		478,581	479,972	△1,391	△0.3%
特別損失		106,215		106,215	皆増
純利益		372,366	479,972	△107,606	△22.4%

経営目標に対する実績

(単位：千円、%) 税抜

		平成25年度	平成24年度
経営目標	経常利益	275,000	276,000
	経常収支比率	107.0	107.0
実績	経常利益	478,581(+203,581)	479,972(+203,972)
	経常収支比率	112.4(+5.4)	113.1(+6.1)

1 電力の供給状況

区分	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B
電力量		629,896千kWh	502,372千kWh	127,524千kWh	25.4%

※上の表は、15水力発電所と1風力発電所を合計した電力量。

- ◎ **県営15水力発電所の供給電力量は**、年間を通じて豊水であったため、**出水率が前年度を大幅に上回った (89.6% → 119.6%)** ことから、**127,068千kWh (25.5%) 増え、625,762千kWh**となりました。
- ◎ **稲庭高原風力発電所の供給電力量は**、平均風速が前年度と同値(7.0m/秒)であったものの、**風速の大きい冬期間に故障停止が少なく順調に稼働した**ことから、**456千kWh (12.4%) 増え、4,134千kWh**となりました。

2 経常収益の状況

- ◎ **経常収益は**、供給電力量の増加に伴い、電力料収入が206,579千円増えたことなどにより、**1億99百万円余 (4.8%) 増え、43億34百万円余**となりました。

3 経常費用の状況

- ◎ **経常費用は**、減価償却費(△51,522千円)及び固定資産除却費(△33,917千円)が減ったものの、仙人発電所2号水車発電機分解点検補修工事などによる**修繕費の増(222,452千円)**、及び**委託費の増(51,411千円)**などにより**2億百万円余 (5.5%) 増え、38億55百万円余**となりました。

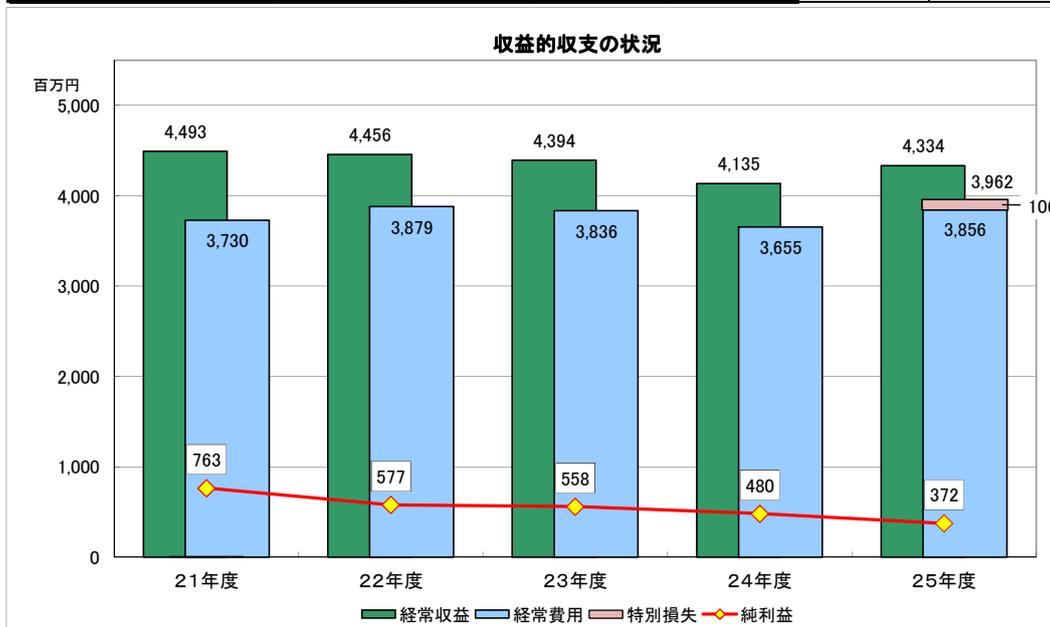
4 特別損失の状況

- ◎ **有根沢地点開発中止に伴う建設準備勘定**(委託費72,787千円、建設負担金22,627千円、等)**の償却**により、**特別損失を1億6百万円余計上**しました。

## 電気事業会計収益的収支の状況

(百万円、%)

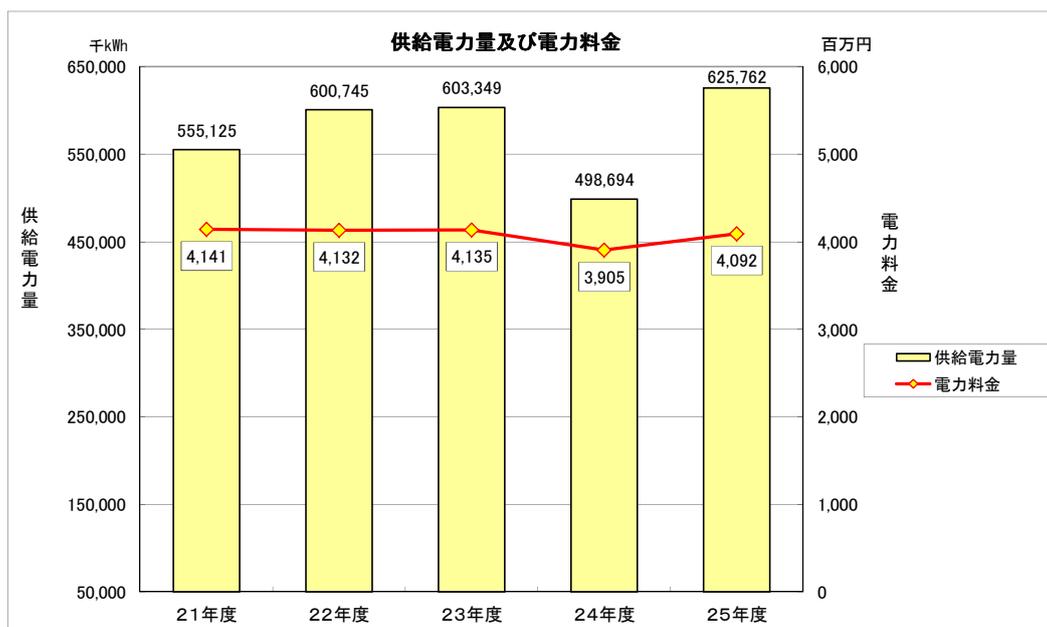
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度(25/24)	
						増減額	増減率
経常収益	4,493	4,456	4,394	4,135	4,334	199	4.8
経常費用	3,730	3,879	3,836	3,655	3,856	201	5.5
特別損失					106	106	皆増
純利益	763	577	558	480	372	△ 108	△ 22.4



## 水力発電の状況

(千kWh、百万円、%)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度(25/24)	
						増減	増減率
供給電力量	555,125	600,745	603,349	498,694	625,762	127,068	25.5
電力料金	4,141	4,132	4,135	3,905	4,092	187	4.8



# 平成25年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- ◎ **経常収益は、前年度に比べ契約水量が減ったことなどによる給水収益の減等により、65 百万円余 (△6.7%) 減り、9億8百万円余となりました。**
- ◎ **経常費用は、修繕費、委託費及び減価償却費等の増により、78 百万円余 (11.2%) 増え、7億85 百万円余となりました。**
- ◎ **この結果、経常利益は前年度を1億44 百万円余 (△53.9%) 下回る、1億23 百万円余となり、純利益は、特別損失の皆減により、前年度を7億49 百万円余(119.7%)上回る、1億23 百万円余となりました。**
- ◎ **経営目標と比較すると、経常利益は85 百万円の目標に対して、38 百万円余上回りました。また、経常収支比率は110.0%の目標より5.7ポイント上回り、115.7%と目標を達成しました。**

## 平成25年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) /  B
経常収益		908,727	974,188	△65,461	△6.7%
経常費用		785,455	706,605	78,850	11.2%
経常利益		123,272	267,583	△144,311	△53.9%
特別損失			893,365	△893,365	皆減
純利益		123,272	△625,782	749,054	119.7%

## 経営目標に対する実績

(単位：千円、%) 税抜

		平成25年度	平成24年度
経営目標	経常利益	85,000	146,000
	経常収支比率	110.0	118.0
実績	経常利益	123,272 (+38,272)	267,583 (+121,583)
	経常収支比率	115.7 (+5.7)	137.8 (+19.8)

## 1 工業用水の供給状況

区分	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B
調定水量		14,884 千m <sup>3</sup>	15,719 千m <sup>3</sup>	△835 千m <sup>3</sup>	△5.3%

※調定水量 = 契約水量 + 超過水量 - 料金を免除した水量

- 北上工業団地及び岩手中部（金ヶ崎）工業団地の18事業所の契約水量は、年度途中の給水契約廃止及び新規契約等により、833 千m<sup>3</sup> (△5.4%)減り、14,508 千m<sup>3</sup>となりました。(日量：平成24年度42,031 m<sup>3</sup>→平成25年度39,748 m<sup>3</sup>)
- 超過水量は、前年度と比較して23 千m<sup>3</sup> (△5.7%) 減り、380 千m<sup>3</sup>となりました。
- 調定水量は、前年度と比較して835 千m<sup>3</sup> (△5.3%) 減り、14,884 千m<sup>3</sup>となりました。

## 2 経常収益の状況

- 経常収益は、契約水量の減などの給水収益の減 (△36,683 千円)、及びろ過給水収益の減 (△29,408 千円) 等により、65,461 千円 (△6.7%) 減り、9億8百万円余となりました。

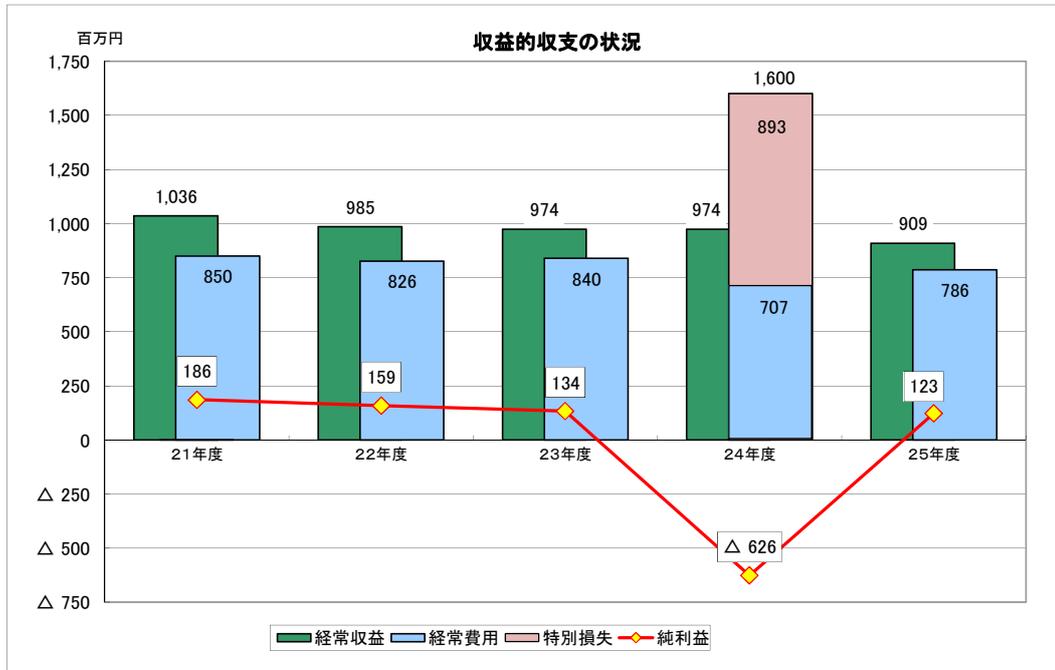
## 3 経常費用の状況

- 経常費用は、修繕費 (42,047 千円)、委託費 (21,653 千円)、及び減価償却費 (17,024 千円) の増等により、78 百万円余 (11.2%) 増え、7億85 百万円余となりました。

## 工業用水道事業会計収益的収支の状況

(百万円、%)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度(25/24)	
						増減額	増減率
経常収益	1,036	985	974	974	909	△ 65	△ 6.7
経常費用	850	826	840	707	786	79	11.2
特別損失				893		△ 893	皆減
純利益	186	159	134	△ 626	123	749	119.7



## 工業用水道使用状況

(千m<sup>3</sup>、%)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度(25/24)	
						増減	増減率
契約水量	15,254	15,290	15,383	15,341	14,508	△ 833	△ 5.4
実使用水量	10,851	9,081	8,121	7,622	7,431	△ 191	△ 2.5
超過水量	306	350	319	403	380	△ 23	△ 5.7

超過水量: 契約量を超える使用量

